報

本紙定價 壹部參錢▲壹ヶ月七拾五錢▲參ヶ月前金貳圓拾五錢▲六ヶ月同四圓貳拾錢▲壹ヶ年同八圓四拾錢▲郵券代用二割增

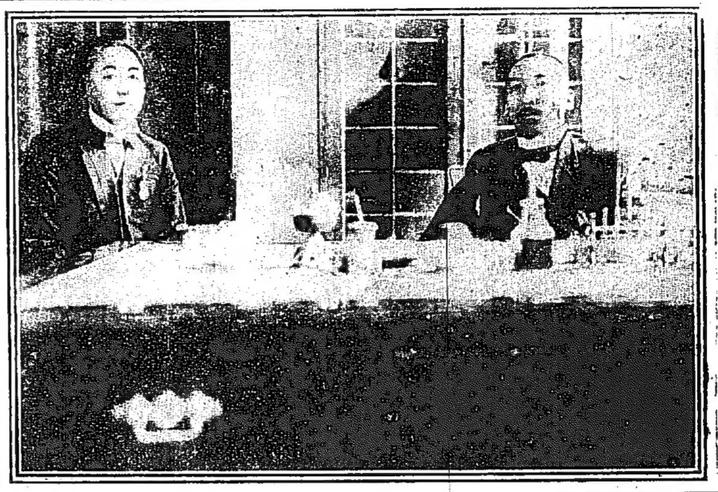
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢▲特別二號活字一行三圓

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用 六千九番 營業用 [illegible]

[illegible]

大正七年七月一日改正發行

（南大門行）



安福倶樂部の首領 內務總長王揖唐氏は安福倶樂部を創設し議員を操縱し新國會に於ける衆議院議長として立つべく內外の注目を惹きつゝあり又前參政院參政王印川氏は常に王揖唐氏の行動を援けつゝあり寫眞は右王揖唐氏左王印川氏

◎時局對應策如何

政友會總務元田肇氏談

時局喫緊の要務は外戰時及び戰後に於ける世界の大勢を達觀し如何なる防策によりて帝國の威信と福利とを全うすべきかを考究し、內は深く

▲人心の赴く所を觀取し統一と調和を圖り、以て我が帝國の根柢を固うすべきかを研究し各々之れに對する根本策を定め、其の實行を徹底的ならしむるに在り。而して其の所謂根本策なるものに就ては、各般の事に亘り容易に斷言を以て之を盡すを得ずと雖も、今予の信ずる所を概括して之を云へば、先づ國軍策動の場合は帝國自衞の外に出づるべからず。唯だ除外例として與國協調の上、帝國の力を克くすべき範圍に於ては可成的其の協調に從ひ、以て與國たるの信義を全うせんが爲め出兵するの場合を認むるのみ

▲此以外に出で、苟くも事を構へ侵略的主旨を以て萬一に僥倖せんとするが如き行動あるを容さず。內政にありては天下民心の赴く所を達觀し克く其の意を疏通するに努め、爲政家たるもの常に一歩を先んじて民心をして寧ろ追隨せしむるが如き措置に出づるを要す。今や歐洲戰亂の餘弊は極東に及び帝國に於ても浦鹽出兵の事あり、而して國內に於ては物價騰貴し、就中我が食料品たる米麥の價格暴騰し各地騒然たるの不幸を見るに至る。今回騒擾の直接の原因は米價の暴騰に在るが如きも

▲其間接の原因 に至りては人心の趨嚮を察し施設これに對應するに於て遺憾無きに非ざりしが如し。故に今日の急務は先づ以て民心を察し一歩を先んじて是れに對應するの遺漏なかるべからず。而して之れを爲すの方法施設に至つては、教育その他に關し茲に枚擧するに遑あらず。之れが詳細の卑見は僅に少時間の盡し得べきにあらざるを以て、他日に讓る可きも、目下の時局に關し、內外に亘りて最も考慮すべき主要の點は以上の數言に盡くし尚ほ茲に一言すべきは、前述內外の區別を立てたる際其內と言へるもの中には無論我が領土たる

▲朝鮮臺灣等を含めるものにして、苟くも我が帝國の領土たるに於てその新領土たると否とに、毫も一點の區別も此れを認めざるなり。敢て附言す。（東京支局）

東京だより

何ぞ自重せざる

八月十四日午後八時 東京支局にて 白蘇鐵

▼連日各地の暴徒の亂擧は言語に絕するものあり、而して波動遂に帝都に及ぶ。前夜九時、日比谷公園に集合せる千餘の群集は警官隊の包圍に遇ひて解散し、街頭に出でて多少の暴擧を恣にしたり。本夕、只今、多少の風あり、人心必ずしも安んぜず、日比谷、上野方面、銀座街頭、警戒最も嚴しく、吉原花街妓樓の燈消えたるものあり、全市殷賑なる沈默に入りて喧嘩の馬蹄獨り蹇々たるを聽く。

▼吾人は、聖德海の如くにして宸襟安らかならず、畏くも前日已に御內帑金を賜はりて救急の資に充つ可きの大御心に感佩せり。また政府が前日既に國庫金一千萬圓の支出を斷行して救急の施設に着手せんとしつゝあるを知れり、而して後、今騒擾あり、是何の爲の騒擾ぞや、而して今亂擧あり、何のための亂擧ぞや、騒がんがために騒ぎ亂せんがために亂すとせば吾人は不幸にして、しかく閑作業に從事するの閑日月を有せざるを奈何せん。寔に吾人は今、空騒ぎのために吾人の精力の一片をも費すべきの時局に非ざるを知る。國家は國家百年の運命のために、吾人の精力と血液とを要求するの切なるに非ずや。

▼吾人は最近に於て、聯合與國と協同し忠勇なる我軍が西伯利亞に出動し、次いでまた北滿洲に於て我國軍の策動を開始したり。チエック軍、セミヨノフ軍、及び我國軍の聯合部隊が露支國境滿洲里附近に於て獨墺軍と兵火相見ゆるのこと日を期して待つ可き時に當り、此の閑作業あり、吾人は國民が更に自重し、自省し、外、聯合與國に對し、內、面目を樹つるの孰に出でんことを望むや切也。

▼政府は、此種の騒擾が、傳染的危險性を帶ぶるものなるに鑑み、操觚界の愛國心に訴へ、一切米價問題を因とせる騒擾に關する事實に就て暫く沈默を守るべきを商議せんとすと。吾人は國家の秩序の維持のために直ちにその實現を歡迎せんとす。

◎朝鮮の實狀を東京の財界に

周知せしむるの要あり

——嘉納鮮銀副總裁談

東京から朝鮮に移つて來て予の常に感じてゐるのは朝鮮の事情が東京に多く知られてゐないと云ふ事である、大阪は朝鮮と商業上の關係極めて密接な故もあらうが比較的朝鮮そのものが了解されてゐる。乃ち新聞を見ても大阪の新聞にはよく朝鮮の事が出てゐるけれど東京の新聞にはその掲出が極めて少い、之れは何等かの方法を講じ政治上の中心地たる東京に朝鮮事情を了知さすと云ふ事は極めて必要だらうと考へる。然らば如何にすれば好いかと云ふ問題に至ると吾輩にコレと云ふ腹案もないけれど兎に角此の問題は

▲朝野有識者 の常に心するを要する事ではあるまいか、現在朝鮮の事業界に流れ込んでゐる資本中東京系統に屬するものが幾千あるか又大阪財界の範圍のものが何程の概算になるかは予の未だ詳らかに知り得ぬ點だが恐らく東京の資本は大阪の資本に比し餘程少いであらうと思ふ、ナニモ朝鮮の事業界に大阪の資本の多いと云ふ事を問題とすべきでないが、東京は殖民政策の根源をなす所だから東京の資本も大に朝鮮に引くと云ふ計畫をするのは朝鮮開發のために誠に好い事だらうと思ふ。それには先づ前に述べた樣に朝鮮事情の東京方面紹介を現在より數步進め東京人に對朝鮮趣味の感得をなさしむる事が肝要であらう

▲朝鮮產業の骨子 朝鮮銀行も半島產業の骨子となるべき假へば發展であるとか、棉花の栽培であるとかには十分援助してその發展を助成して行きたいと思ふ。唯地方產業の開發といふ樣な業務は今回設立せらるゝ朝鮮殖產銀行が主として働かるべく鮮銀としては今後直接にどうかうすると云ふ範圍は漸次狹まるであらうがそれには矢張り外國に關係を有つた物產でなければ生產は殖えた、而して直ちに過剰を憂ふるやうになつては困るものである、矢張り穀、棉、蠶等が主要品になるかと思はれる

◎穀類輸送圓滑

朝鮮より內地連帶の鐵道貨物は關釜連絡船の船腹關係並に山陽線の輸送力等に阻まれ兎角滯貨勝ちにして車扱ひの如きは尙三月中に申込めるものにして今日まで滯貨となれる有樣にして近時穀價の奔騰の如き何等輸送の關係より來りしものとは信ずる能はず然も近時米價調節施設等のため廻穀の委託若干あり現に湖南線方面より東拓貯藏籾一千二百石の京城輸送の如きその一例なるが斯かるは特に急送すべき方針にて手配りをなしつゝありと京管當局者は語れり

◎殖銀事務進捗

朝鮮殖產銀行の設立事務は漸次進捗して過般來株式の割當てを終了し來る二十日その第一回拂込みを徵する事となりしが一方中村有賀河內山野坂の各幹事は常務委員の意を享け銀行の職制給與規則旅費規則等內規の立案を急ぎ又各農銀本店並に支店の統一方法各銀行との關係更新等に付協議を進めつゝありと

▲各支配人去就 殖產銀行に引繼がるべき現在の各農銀本店は位置に多少の異動を見るやも圖り難きが何れも總支店の名義を以てその管內の支店出張所を監督する事となるべく各農銀支配人は遠山漢湖の退職する外岩崎全州、森光州、中西平安、中尾慶尙、山本咸鏡の五氏は何れも留任して入つて本店の要職に就くか若くは支店長たるべしと

◎東畜會社許可

東拓會社の大株主たる東洋畜產株式會社は十五日附を以て總督府より許可ありたるを以て十七日東拓京城支店に於て一部の發起人會を開き創立事務所を東拓京城支店に置くこと並に正式に株式申込及び其の割當方法其他設立事務に關する種々の打合せを爲したるが今後一瀉千里に事務の進捗を見るべし

◎內地新設線開業

八月十日より鐵道院木更津線安房勝山、那古船形間の運輸營業を開始せし旨鐵道院より滿鐵京管局に通知ありしが右は院局兩線小荷物の連帶取扱ひ驛中に含むものの由新設停車場名哩程左の如し

▲安房勝山（既設停車場）▲岩井一哩八分▲富浦三哩八分▲那古船形一哩四分

◎軍司令官招宴

宇都宮軍司令官は十六日午後七時半より長谷川總督山縣政務總監以下總督府各部長官を官邸に招待して晚餐會を催ふせり

◆岌々乎たるレ政府の運命

反過軍統一運動

▲內部的破綻 レニン政府は其成立當初においては過激派中の左黨及び純レニン派の聯立組織にして其基礎比較的鞏固なりしもブレストリトウスクの講和條約締結を期としてレニン一派の獨斷的態度に反對せる左黨一味が連袂脫退するや政府內部に破綻を生じ爾來左黨は農民及び勞働階級者と結び之を煽動してレニン政府顚覆の陰謀を企て常に其機會を窺ひつゝありしが遂に七月上旬開催せられたる第五回勞兵總會において左黨議員は全部政府部內より脫退し全然レニン一派と關係を斷つに及び左黨の反政府熱は極端に昂上しレニン政府が政策を誤り國家を危殆ならしむるを責むると共に獨逸勢力の刻々侵入し來るを憤慨し遂に露都に於てはミルバッハ大使の暗殺となり小露に於てはアイヒホルン總督の暗殺を敢行するに至れり

▲反過熱增大 レニン政府に反對し之を露國の爲めに除かんとするは獨り中央部に止まらずサマラに據れる烏拉爾哥薩克の首長ドウトフはチエック軍の擧兵と同時に之と聲息を通じ漸次西進して反過激派の勢力を歐露に擴張するに努め最近に於ては其勢力範圍をヤロスラウリ（莫斯科北方約四十里）ウラヂミール（同東方約三十里）コストロフ（ヤロスラウリ東方約十二三里）ヴオログダ（莫斯科北方百二十里）附近一帶に及び未だ相互の連絡は確保せられざるも以上の各地には反過激派熱頗る旺盛となれり又一方に於ては協商國のムルマン地方に對する兵力干涉漸次進捗し又白海沿岸ヴオログダ鐵道の終點アルハンゲルスクに上陸せる聯合軍は既にヴオログダに向つて行進を起しつゝあるを以て進一歩せば協商國の上陸軍と歐露東部各地の反過激派軍とは相互に連絡を通じ得る形勢となれり若し歐露北部及び東部の反過激及び聯合國の上陸軍とが合體して統一せらるゝに至らばレニン政府の威力は當然歐露北部及び東部に及ばざるに至り其勢力は激減せらるべきを以て其危險を未然に防遏せんとして行はれたるは即ちヤロスラウリの白衞軍に對する過激派の脅迫なり

▲反過軍統一 ヤロスラウリの戰闘に於て白衞軍及西部チエック軍の破れてサマラ方面に退却中なるが是れレニン一味の過激派軍が各地の反過激派が漸く統一せられんとする傾向あるを觀破し偶々機先を制したるに過ぎずして既に各地に瀰蔓せる反政府熱は牢として拔くべからざる程度なるを思へば一たびヤロスラウリに敗退せる白衞軍が再び其軍容を新にして過激派軍に當るべきは必定なると共にムルマン地方及び白海南岸に上陸せる聯合軍は目下當該國の駐露大使と協力し歐露東部各地の白軍及びサマラ附近のチエック軍と速かに連絡を取らんと焦慮しつゝあるを以て遠からずして反過激派軍は協商國援助の下に統一せられ互に連絡を確保し行動を共にするに至り一齊にレニン政府顚覆に努力すべしと觀測せらる唯だ聯合國の上陸軍反過激派軍及び西部チエック軍統一上の障碍たるべしと豫想せらるゝは強大なる獨逸軍が露國內に侵入し來る事にして最近の西部戰局に對する獨逸軍の專守的態度は或は獨逸が一旦西方に移動せる兵力の一部を再び東方に輸送し聯合國軍反過軍及びチエック軍に對せしめんとする準備に非ずやと推察せしむる點なしとせず

▲內憂又外患 又國內の糧食缺乏に逢せるよりレニン政府は農民に對し無遠慮に徵發を命じ過激派の掠奪至らざるなきより農民の反感を買へる事も尠からず今やレニン政府の命令を遵奉する者は少數なる親衞兵と露都及び莫斯科在住勞働者の一部に過ぎず從つて其武力的威力は極めて貧弱にして頼むに足らず然るに獨逸の壓迫は大使總督の暗殺後飽く所なく繰返され而も之を拒否する實力なきを以て已むなく許容しつゝあり去りとて今更協商國の援助を求むることもならざるよりレニン政府の窮境は日を追うて深甚となり內憂外患底止する所なき爲め其斷末魔は刻々近迫しつゝあり現に最近外電にはレニン、トロツキー等の逃走說さへ傳へ來れり事實如何は未だ確報を得されども以てレニン政府の窮狀を察するに足るべし（某露國通談）

◎平澤中佐著任挨拶 此程著任したる朝鮮軍高級副官步兵中佐平澤安次郎氏は十七日官衙、會社、銀行、新聞、通信社等に歷訪し新任の挨拶をなしたり

人事消息

▲東京市會議員一行 十八日朝平壤へ
▲河田京大教授 十八日朝水原へ
▲李鍝公殿下 避暑のため元山に御旅行中なりしところ十七日午後六時五十分南大門驛着歸京

茶前酒後

◆救濟會も、愈々實行期に入り、米高に悩む人々は、稍愁眉を開けり。廉米所及廉賣所に於て、廉米人又は廉賣人の中には劍もほろゝの行態ありと聞く洵に苦々しき話也。元來が好意、親切を以て成立せしものなれば、從事者も能く其意を諒して、事に從はざるべからず。吾人は無闇に愛嬌をまけと云ふに非ず、親切に取扱へと云ふにあり。折角の好意なれば、能く其の好意を傳へよ、監督者たる者は此點に注意すべし、敢て戒む。

◆強記の諸君は記せむ、一時蔚山白骨事件として、當時世人の耳目を聳てたる長坂事件は長七郎縛せられてより六年、既に四度死刑の宣告を受けて久し。恐らくは本事件程、裁判官の手を煩はしたる事件は、稀なるべし。然も其間判官の公明にして、正大なる、洵に吾人の敬意を排ふ處也、聞くが如くんば長七郎は、更に今回釜山に送られ、又新に何事か、取調に逢はんとすと。吾人茲に至つて更に裁判の神聖にして、公平なるを思はずんば非ず。

◆法は曲ぐべからざるも、事實に反して、法を適用せんとするは、不可也。長坂事件の裁判が、斯も長期に亘れるは、即ち判官の公明、不偏を證する處にして、茲に於てか法の神聖にして、尊嚴を示すもの也。苟くも法を司る者は、宜しく好模範とせよ。

◆朝鮮各郡に於ける、在米調査は、日々本紙上に於て、發表されつゝあるが、各郡共新米出廻り期迄には、不安を感ずる處なきもの如し。而して大體に於て在米の富有なるは、生活の安定を、示すに足る。生活の安定は、社會の平和を保ち穩健を維持するの基礎たり

◆地方鮮人が、麥其他の雑穀を、米の代用として、飽食しつゝあるは、各郡よりの調査回答に由つて、分明なるが、都會鮮人が近時、米食の傾向あるは、生活程度の向上と共に、洵に止むを得ざることなるも、其の結果は餘り喜ばしき事に非ず。頃日市中の穀商に聞くに、入向粟の賣行前日の如からず、大抵の鮮人は米を要求すと。甚だしきに至つては勞働者にして、僅かに口を糊しつゝある者が、如きは、口に合はずと放言するあり。故に斯かる時に際しても、彼等が生活難に壓迫さるゝ事の、より大なるものあるは、又憐れむべき也。此傾向に對しては、心ある者は、今に於て考慮を要すべし。

◎安全確實に儲かる

◎三百圓で千八百圓の利益◎

—此の期間僅か三箇月間—事實がこれを證明する—

▽疑ひ深い人は儲からぬ△

金の出來ない人に質問して見たい、「貴君は金利の計算を御存じですか」と。世間を御覽なさい、金持になる程の人は必ず金利の觀念が強いが、金の出來ない人に限つて、金利の觀念が乏しい。よく考へて見ると、金利位恐ろしいものは無い、百圓の金を

◆銀行の 定期預金（年五分）に預けて置いただけでは三十年目に四百三十二圓十九錢、五十年据置いて漸く千百四十六圓七十四錢にしか成らないけれど、同じ百圓の資金を年二割に運用すれば、三十年目には二萬三千七百三十六圓九十五錢、五十年目には實に九十一萬〇十七圓七十八錢になるのである。

◆金利の 說明は判つた、成程年二割に廻して行けば、小資本の者でも忽ち一廉の金持になることが出來る、併し理窟はさうだが、年二割に金を廻して行くことが出來るだらうか、出來ますとも、而も月給取なら其月給を取りながら、商人なら自分の商賣をやり乍ら、農業家なら農業をやり乍ら、職業の何たるを問はず自己の本業を勵みつゝ、其片手間に

◆年二割 どころか、時によつては三割にも四割にも、廻すことが出來る方法がある、それは何であるか、有價證券（主として株券）の賣買である、今一例を擧げれば、日本郵船株式會社と云へば、誰も知つて居る日本一の大會社であるが、此會社の新株を、昨年十月廿五日に一株百八十一圓出して買つて置くと、前期の配當金（拂込金に對する年五割）を取つた上に今年二月二日、三百六十圓九十錢と云ふ値の出た時に、これを賣却すれば、僅

◆三月と 二日間に、百八十一圓の資金で百七十九圓九十錢の利益を得られたのである、即ち元金と配當金と兩方で儲けて居るから、非常な利殖ではないか、この割合で同株を十株買つて置けば一千七百九十九圓の儲けとなる。併し斯の如く郵船新株券を買つて儲けるには、十株で千八百十圓の資金が必要で、それ丈けの金が無ければ出來ないやうに思はれるが、此處にそれだけの金を積まなくとも、一株卅圓、十株三百圓の手附金を出せば、同株十株を買占めて置くことが出來たのだ、そして二月二日の値段三百六十圓九十錢になつた時に賣つたとすれば、矢張り前と同じ千七百九十九圓の利益を得られたのである。

◆三百圓 の資金で、僅か九十餘日の間に千七百九十九圓（約六十割）の利益！こんな面白い金儲けは世の中に株券賣買以外には無いと云つても宜からう。

以上はホンの一例に過ぎぬが、其他の會社の株券なら如何なる株であつても、大抵一株四五圓から廿圓內外の手附金で買つて置けるのだから、少し

◆上手に 買ひさへすれば僅の資本で前例よりもずつと〳〵利益が得られる、何と云つても戰爭のお蔭で、我國には神武天皇以來見た事もない十何億と云ふ金が入つたのみならず、今後も每月何千萬圓と云ふ金が定つたやうに入つて來るのだから、大勢上株券はまだ〳〵値が出る、その株券も高い時に買つたのでは利益が少いが、今日のやうに割安の時に買つて置けば必ず利益がある、儲ける時は今である、現に一昨年來

◆本社を 信じ本社の會員になつて株券を買つた方々の中には隨分儲けた人が澤山あつて、その禮狀は積んで山をなす盛況である、若し疑ふ人あらば本社へ來て實見すれば分ることである。但し株券を買ふにも確實なものを選ばねばならぬ、儲けの多いものを選ばねばならぬ、されば ドンな株券を買つたらよいか、買ふ手續きはドウするものか、又手附金で買ふ方法はドウか、夫等の事は總て誰にも分るやうに詳しく本社發行の株式研究號に書いてある。入會希望の方は先づ

◆ハガキ で東京市神田區一ツ橋通町八株式會社高瀨研究所へ『有價證券研究號送れ』と申込まれよ直に無代で進呈する此研究號は記事が豐富で、それを讀んだ丈けでも實際に財產を利殖する上に裨益する處が多いから、此際至急に申込まるゝが得策である。

壹千五百組限り

上等毛布 一組一圓五十錢 二枚一組

東京市日本橋區本石町一丁目 [illegible] ハガキで申込めば送料などは當方で負擔するとの事

文官劍 軍刀 指揮刀 及附屬品販賣 日本刀研 白鞘製造

京城本町三丁目九一（壽座先キ） 諸官衙御用 吉岡利平 電話五八二番

た こ い 記者は 見て歩 き付け 國米さ が賣れ

增加して行くばかり係員の方では煙草一服吸ふ暇も話す暇もない實際應接に暇が無かつた十時半頃迄には尠くとも五百餘名に達したであらう

▽内儀さんや女中さんが

手に〳〵袋、容器を携げて 殺到した若草町本願寺 外米試食の篤志家も來た

南大門を去つて此處へ來て見ると此處は又見渡す限り内地人ばかりお内儀さん連中女中連中が手に手に袋容器を携へて殺到して居た此處でも外國米等は容易に賣れず十一時頃迄に僅かに六人に賣り渡したに過ぎない其れも寧ろ篤志家とも云ふべき輩の外米試食を行らうと云ふ手合であつたと云ふ事だ十一時半頃迄には既に石不拔米券七十三枚、外米券六枚、石拔き米券百九十五枚を賣つて居た此の分で進まば正午迄には少くとも三百五十や四百枚には達するだらうと係り員は話して居た

▽彌次馬も交つて

大いに係員を面喰はせた 櫻井小學校の廉賣所 感涙に咽ぶお婆さんもある

更に轉じて櫻井町に行つて見ると此處は又格別殺到した群集は殆んご制するに由なく午前九時半廉賣開始と云ふに八時頃より賣渡所に詰めかけ係員を一方ならず面喰はせたとは又面白い事だと思つた先づ内鮮人半々と云ふ形である長く校庭に溢れ出でた群集は無慮二百其れが歸る一方には這入つて來るので群集は益々增大して行く一方中には所謂彌次馬迄も混じつて益々雜沓させるので係りの警官は正門に出張し事實廉賣を受け樣として足を運んだ人の外は校庭内に入れない事にして居た而し廉賣を受けて歸つて行く人の後影は孰れも感謝の影であつた係員の一人は曰く『誠に結構な事です時價よりも十錢安で上等白米が買へるのですもの、誰でも喜んで行きますよ、有難うを何遍も何遍も繰返した中には感涙に咽ぶ婆さんさへ見受けました……』と

はガソリンの缺乏に悲困するもの も火まで成るべく危險を避け用ゐ にて今回セミヨノフ軍に飛行機製作 待べくんば飛行機製作に從事し居 堅へば我等もガソリンの補給をな ふ積りにて職工四名を引連行し來れ

○浦鹽給船上陸客 十

大阪市にては更に市營簡易食堂二個所を新設せり(大阪特電)

▽米の配給に惱まされた參謀本部

更に踵を返して今度の廉賣に關する參謀本部の格である府廳を訪うて見た此處では服部事務官やら警議所大村書記長やら其他の係員が盛んに九箇所の廉賣所と連絡を採つて夫々の報告を待ち白米の配給に惱からず多忙を極めて居た『こゝでは最早石抜き白米が賣切れ相だ何處には石拔き米を增加して石拔き米を減らさう』と報告次第始終米の配給を操らなければならない十八日に出した廉賣米は總て、五百石で各所に依つて配給の量は多少相違してゐると云ふ事だつた、此の日金谷府尹、北村事務官、小平田本町署長其他の關係者は大抵各廉賣所を巡視して歩いた參謀本部の府廳には裏面になつて小原廳商工部長官も見られて居た

##

(一)雨五日降り續いた雨も昼さともにきれいに晴れ渡りました、久し振りのお天氣なのでそこでも此所でもお洗濯やら下駄、洋傘まで並べ一ぱいに干してあります、さある後庭に金彌君の蝙蝠傘が干しておけます、あたりに鶏が四五羽遊んで居りました

(二)おとなりの鳥坊は之りや面白いといたづらをしてやれと言ふので鶏を集めて糸をその蝙蝠傘にいはへ付けました

(三)遠くから見て居た金彌君之りや大變と聲あげてアンデーよアンデーよと鶏の蝙蝠傘の後を追ひました

(四)鶏は各々なごろいて傘の付いたまゝ飛び揚がる金彌君は傘を取られまいとしてしつかり握つて居たからたまらない遂に風のまにまに空中高く蝙蝠飛行となりました

○徒に恩に著せるな

米はもつと下落する筈 市價を下ねば市民は却つて有難迷惑

米價昂騰に際して市民中には米の買溜をする者が多く之がために精米所筋は例年と何等異なる處なく作業をして居たにも拘らず供給不足を訴へて居つたが最近米價下落の結果として

▲人氣頓に沈靜し 一時爭つて米屋に押しかけた需要者も先安を見越して、買溜にお使用して居るのが普通米屋は頗る閑散の模樣である或精米所主人曰く『地方からの廻送米が漸次增加しつゝあるのと市中の購買高が減少したので精米所は作業上非常に樂になりました、此分で行くと米價は

▲近く下落する であらうと思はれる』と言つて居たが某有力者は『京城は米穀の廻著が多かつた爲生產地に比して常に騰貴率が緩漫であつた、だから各地が下落すれば京城は勸落するであらうと想像されて居たが、开麼樣樣もなく依然として三十九錢を動かず目下の處では

▲全鮮中最高位 にあるの狀態だ、殊に騰貴する場合は内地價につれて居り乍ら内地が鮮米よりも下落になつても、いつかな値下げしないのは、怎ういふ理か餘り米穀商人の腹の裡が見え透かされるではないか、それに京城目下の需要を見ると各地とも餘剩米が澤山あるさうではないか、今の處石拔

▲強氣材料に乏しい事 材料は豐當でも業者一致する處であるから米穀商は此上衆怨を買はないやう、大勢に順應しなければなるまい』街の一市民曰く『京城の米屋組合では

○王世子御歸京

十八日三島より

李王世子殿下は十八日午後三時廿二分三島別邸より歸京さる(東京電話)

直石を十錢安で賣つてゐるが、之をもつて市民全體に恩顧を賣つたやうに考へられては困る、内地人の大部分は廉賣米のお情に縋つては居ない

▲廉賣米の陰にかくれて一般賣の米價を依然として引下げられなければ眞に救濟を要すべき月給取の迷惑困窮は依然として滅じないのである

○御眞影を盜みし犯人は 小學生

『昨年宮崎縣にて紛失せし』宮崎縣西諸縣郡廣原小學校御眞影を紛失せしは大正五年二月なりしが犯人は同校三年生鳥居重義(一三)にて式典當日最後の列にありて拜す能はざりしを殘念がり是を偸みて山林中に持ち行き密に禮拜したるものなりと(宮崎電報)

○大連鈴木支店 一萬圓提供

『物價調節の爲』

鈴木商店大連出張所より物價調節の爲一萬圓を滿洲日々、遼東兩新聞社に提供せり是に河村氏の一千圓外二三篤志者よりの一千六百圓の寄附を合せ救濟寄附金現在總額は一萬二千六百圓に達せり(大連特電)

緩衝機 (投書歡迎)

恥を知れ 京城 薄給者

◆米價昂騰の證迹は、頗る一割と省くも薄給者が脅威を感じ來るにも不拘、京城の米穀商は米が無いとか言ふ理由の下に、先高を見越して賣惜しみ、爲めに米價は騷騰を見るに至り吾々の衣類家具は皆米代に拂り、今は只飢死を待つより外に致方なくなつた此を見て見ぬ振をして居る傀紳士の多い京城には ほとく愛憎がつきはてた ◆然るに仁川の淺野太郎氏は再び格安賣を實行しつゝある其の美擧に對しては只感謝の外はない ◆さるにても京城の富豪の落たれ方はどうか、彼等は恥を知らぬ小猶太人と選ぶ處がない、恥を知れ、恥を知れ、願ふ所の紳士諸君よ、ご今在る地獄へ落ちる時は、六文しか持つて行けない、活きてる裡にちつとは卑餓ばしするが宜からう

一日一食 貧窮雇員

◆余は或る官衙にて月俸二十二圓の雇員ですが、第十二師團管下の在鄕軍人である關係上、いつ何時下令あるや、計り難き狀態であります。物價騰貴以來、前給にて生計困難。それがために家族四人は充分に喰ふ事が出來ませんから、約一年半ばかり前から二食にして女子供に苦痛を與へぬやうにして居りました ◆然るに前月末頃から二女共百日咳を病み長女は肺炎を併發しまして、次女は體溫三十九度を上下する事一週間餘なるも貧窮の爲めとて、醫師の診療を求むる事も得ず、只最愛の我子の死を傍觀するの外なき有樣なれば、最近僅めて一食を摂り居るに過ぎません

慈善の假面 仁川 僞善者

京城の某々富豪は、救濟會へ四五百圓と言ふ金を、恰も水の舞臺から飛び降りた樣で、奮發しやうとしたさうだが、恐れ入つた事だ仁川を見給へ、君等より資力の乏しい人達が、千圓五百圓と寄附して居るではないか ◆自ら顧みて恥しくはないか、京城の貧民は、君等の落とされた金に依つて救助される事を光榮と思ふまい惜しい金なら出さずに引込めたが宜からう。某大會社の出張所も五百や六百の端た金で、慈善の假面に隱れやうとして居るが、社員が遊蕩費に數千金を消費する位なら惡いふ時に奮發するが宜い

○本社經由寄附金

京城救濟會寄附金中既報の外左記の分も本社を經由したるもの也

金百圓	裡 萬燮
金百圓	麻生 音波
金五十圓	白水 たね
金五圓	玉屋號 やつこ
金二十圓	若草町郵便所 藤井慶太郎
金百圓	万 重
金百圓	閔 [illegible]
金百圓	新田 耕市

○平壤にも救濟會

◇……委員十名を囑託 物資の廉賣決行……◇

平壤府に於ては今回の物價暴騰に際し多數の細民あるを認め救濟機關の設立を必要とし十八日午前八時半府廳に木田府尹會館し民間有力者を集め協議の末愈救濟會を設立するに決し府尹より左記十名に對し夫々委員を囑託せり

△大橋恒三△與田延之助△淺井佐一郞△神村規三△[illegible]

而して救濟事業は警察官署府廳に於て眞に救濟を要する者と認めたる者に限り物資の廉賣を施行するものなり猶今回の設立に先だち平壤大和町柴田鈴三氏は金五百圓を貧民救濟費として寄附する所ありたりと(平壤電話)

○蟻の甘きに就く如く

仁川の米廉賣

一日の賣揚高五十石 仁川救濟會は賣出開始以來毎日時間前より購買者殺到の有樣で其の賣出石數の如き一日平均に五十石餘で達せり殊に龍里販賣所に於ける鮮人購買者は外米一升十六錢の突飛な安値に何れも飛び著くやうに先を爭うて時間前に販賣所の入口で揉み合ひの有樣蜿蜒長蛇の如く求列した群集は賣れども盡きずして賣揚げ石數は一日外米二十八石に達せり十七日の各所賣揚げ數量は宮町鮮米十八石五斗四升麥一斗二升仲町鮮米三石八斗八升麥六升龍里外米二十八石九斗七升

▽販賣所變更

仲町に於ける現在販賣所は七日より本町二丁目村谷商店裏に當る高杉氏所有の三階家屋龍里販賣所は鮮人劇場へ變更せり

り救濟會へ對し二百石の廉賣方を依託の申し出ありたりと

▽醵金者氏名

仁川救濟會へ對し十五日午後以降の寄附申込者氏名左の如し 一金五百圓奧田貞次郎▲一百圓菊次郎▲二百圓茂野太三郎▲五十圓本鳥松▲一百圓吉不和三郎▲三百圓杉昇▲一千圓朝鮮物産株式會社▲二百圓吉金喜三郎▲五百圓今村登六郎▲一百圓村谷吉藏▲二千圓力武嘉次郎▲一百圓高木助市▲二百圓辻川富重▲五百圓慶田利吉▲二百圓猪飼政太郎▲一百圓中金兵衛▲二百圓野口文一 通計二萬九百五十圓以上十七日正午締切

▽中流者へ安賣

救濟會の目的とする處は細民の外に現在最も其の生活に困じ居る俸給取りの家庭より續々購買することを希望し居るも流石に購買所へ出掛くる内鮮人少きより之が救濟の方法に就て協議したる結果各官公署其他に於て俸給者に對し必要と認むる者を取纏め監督者の責任を以て俸給差引等の便法に依り即ち(一)各人の申込みを併合し官公衙又は團體の申込となす事(二)代金は現金の外は俸給日に會計掛より支拂ひを保證する事(三)現品は本會に就て受け取らる、事との條件により十七日より提供する事となれり因に仁川白米小賣り商組合の一部は此趣意に依

◇各地の白米

…十八日小賣値段電報…

▲裡里 廉賣開始の爲め相場一定せり特等四十三錢一等米四十錢

▲馬山 三十八錢

▲鳥致院 白米十七日と同價一等三十七錢漸く變動なかるべし

▲全州 朝三十八錢

▲公州 小賣値三十五錢

▲平壤 十七日より三十七錢据

▲鎭南浦 新井商店にて一等白米わり二十五錢に賣出す

▲仁川 數日來特等一升四十錢一等三十九錢五厘二等三十錢にして相場動かず尙は持合へり

▲清津 一等三十七錢二等三十五錢外米一升二十三錢

天氣 曇 但

演藝案内

有樂館

早川演藝部直營 活動寫眞常設館 十八日より公開 ◎實寫 鰐狩 全壹卷 ◎米國ユ社バイソン映畫 人情活劇 馬賊の最後 全貳卷 ◎ユニバーサル社 第二回 連續劇特作品 ◎社會劇 拜金狂 全五卷 ◎喜劇 物價騰貴通し ◎人情活劇 人民 全五卷

浪花館

明治町二丁目 長電二六〇番 ◎八月十四日より開演 東京大阪合同浪曲大一座

壽館

本町一丁目 電話一〇五〇番 森峰吉一行 八月十八日六回目

黃金館

天然色福岡寫眞會社 京城 釜山 一手代理店 電話二六三七 二二六六 黃金館 ◎眼覺しき大會賞◎

大正館

櫻井町 電話八七三 當る十六日より特別大寫眞 ◎味原池心中 全三卷 ◎百萬弗の秘密 ◎秘密の王國

大連燒酎

銀牌二個 金牌二個

大連燒酎製造所

繪團扇の繪に

ある樣な美しき御顏、その因はたゞ美顏ユーマーの御常用から

美しき君かな

美顏ユーマー常用の方の美容を萬人の目と口は斯く見斯く言ふ

美顏ユーマー

桃谷研究試驗所創製の化粧液にして光榮ある御化粧料三十六種の内

[illegible]氏の手腕は卓越し飛[illegible]は近[illegible]
行機の經驗あるを以て氏がセミョ[illegible]及び過激派の飛行機が僅三四回襲[illegible]待さる獨擅[illegible]て我に對抗すべきは明瞭なれ、よ
ノフ飛行隊指揮官となるは既定せ[illegible]撃せるのみにて其襲撃を中止せる[illegible]つて場合によりては尾崎氏の雄飛すべき機會到來するやも知れざる

◎簡易食堂增設 大阪市營にて

[illegible]

報 雨

前日最高溫度 華氏八十二度二分 攝氏二十七度九分

元山の一日

濡れぬ前こそ露をも……
―厭へ、破れかぶれ 釋王寺行―

夜の明けたのは何時か知らぬが僕には康山で夜が明けた、詰り康山で眼が醒めた譯だ、時に午前六時!!!安岡將軍が折角お天道さまと交涉した甲斐もなく、雨滴り頻りに車窓を敲つ、見渡す限りは唯濛々漠々として宛ら灰色の雲の中を通るが如し。

釋王寺驛で大分降りた、男女老弱、合せて五六十人は確に居たらう、言はずと知れた釋王寺に詣づる輩である、中には無論安岡將軍の一隊も居た、折柄雨は益々意地惡く降り出し一行は忽ちビショ濡れに濡れたが、濡れぬ前こそ露をも厭へ、斯うなつたら最う破れかぶれだと云はぬばかりに、ひた繰出した、男は一樣に尻端折、女は紅い湯もじをチラ付かせて、雨降らば降れ、風吹かば吹けの勢ひ、凄しくもあるが又面白相でもある車內に居殘つた連中は皆其後影を見送つて居る、中には一緒に付いて行きた相にモジ〳〵して居る者も尠くない。

『賊、こないに降るのやよつて止めなはれ』

『そやかて人の行くのんを見ると行きさうあるしな……濡れわ濡れても構はん、行たろ〳〵』

『止めにおし云ふたら、又今度來たら好いがな、な、侯うおしい』

『今度云ふたかて、俺、夫までに死ぬや知れへんぜ』

止めるは女、止められるは男、これは三等車での出來事である、話の模樣では二人は一寸一か夫婦而も男が板場、女が仲居と見たは僻目か、結局御亭は山の神に說き伏せられて不精無精、或は死ぬかも知れぬと云ふ『今度』來る事にして落が付いたが、人生眞に朝露の如し、誰か紅顏白骨と、其『今度』が來るまでに萬一御亭が死んだら何うする、あゝ柳は綠花は紅る、クシャ〳〵〳〵〳〵（西村生）

◎六七十圓の月給では 細民の部に入る 大連の物價騰貴

大連に於ける米相場は本月上旬以來毎日騰貴し十四日に至りては一等米一升五十四錢特等米一升六十二錢と云ふ高値を生じたるも內地に於ける米價騰貴の暴動と氏の善後策としての根本的米價調節と朝鮮米の內地移出の制限の報あり且つ關東都督府にては之れ以上米價の騰貴するに至らば白米小賣を官營とするか或は暴利米商に對し嚴酷なる取締法を取るべく猶ほ一面に於て或方法の下に米價の調節を圖るべしとの事に一時は一升六十錢を突破せんとしたる米價も十五日に至りて弱氣を生じ一等米四十七錢特等米五十一錢に低落したるが猶引續き低落の見込みにて小賣白米は相場のみにては實際の小賣は極めて僅少なり大連市は一般好景氣と市內の細民と稱すべきものは支那人のみにて日本人は米價の騰貴には些かの苦痛を感ぜずと傳へられ居るも其の實生活の裏面に立ち入れば隨分米價及び一般物價の騰貴には困難を極め內地人の購買力は七月以來頓に衰退せるは此の間の消息を語りて餘りあるものなり殊に大連市にては家賃其他物價他地方に比し甚しき騰貴の爲め六七十圓以下の給料取りは全く細民の部類に屬し何れも生活難を訴へ居れり中流以下の滿鐵社員の如き何れも生活の爲めに負ひたる借金に苦しみ居る者甚だ多しと（大連）

◎人馬聲なく 慘として驕らず

旅順白玉山納骨祠參拜詣報

旅順衛戍步兵第二十八聯隊は十四日午後聯隊長寺田大佐統率の下に將校及び聯隊旗衛兵特別衛兵隊附を臨時に至る迄總員隊伍を整へ營門を出發し曾て日露戰役には旅順二百三高地の奪取戰及び奉天戰左翼北陵附近に於ける夜襲等に於て常に我が肉彈の尖先に押し進み幾多の武功を樹てたる光榮ある聯隊旗を捧持し白玉山に登り納骨堂に參拜し後一同祠前に於て記念の撮影を行ひたるが互に或る暗示を不言不語の裏に感得し人皆肅然として聲なく勇ましき氣は各自の眉宇に顯はれ白玉山上より旅順港頭の戰跡に訣別し午後四時半頃歸營の途に就きたるが全隊の威風平素に百倍して勇ましくも頼母しかりき（大連）

◎遼東銀行の擴張

新に資本金を百萬圓に增加したる株式會社遼東銀行は東拓大連支店長安達謙藏氏を取締役に推し營業擴張の爲め本店を普蘭店より大連市大山通り九番地に移轉し支店を大連市小崗子、南大龍街一號地及び關東州普蘭店新市街、金州、南山會、家屯一番戶の三箇所に置き營業を開始せるが關東州に於ける支那人間の唯一の大金融機關として將來大發展を見るに至るべし（大連）

◎支店閉鎖

一時盛大なる鮮滿殖業界に雄飛せんとする計畫の下に大連に支店を開設したる北鮮殖業所大連支店は爾來經營に於ける同支店の不成績の爲め縮少の必要上全同大連支店を閉鎖したり（大連）

◎射擊演習

旅順要港部所屬第十二驅逐隊は旅順港南方海面に於て艦砲射擊演習を施行したり（大連）

◆安東縣より

郡山生

著任匆々本紙の引繼ぎやら、着任挨拶の訪問やらにて目の廻る程忙しく爲め未だ安東縣に就て何等の智識を得ず申譯無之、然し一兩日も相過し申し候得ば、安東縣の他面を伺ひ知る事が出來可申かと存じ候、依て左に聊か直感的印象の一部を御報道申上候

◆◆筏節で有名 なる國境の鴨綠江を隔てゝ、安東縣に到著致し候ても凡百の風物は直に朝鮮と異りたるもの無之、『支那』若しくは『中華民國』らしき氣分を味ふの、至つて貧弱なるは聊か物足らぬ心地致し候、這は安東縣の舊市街即ち支那市街に未だ一瞥を與へざる爲めにも候はんが

◆◆滿街の樹木 は多く、ポプラ、アカシヤの類に限られ、日本市街の家屋は五六の洋風建築物を除くの外は、凡て純然たる日本式家屋にして、一見防寒の設備等は甚だ不完全なるべしと存じ候

◆◆目下安東縣 に於ける日本人の總數は七千人と稱せられ猶益々增加一方の由にて、現今外來者にして貸屋を求めんとするも大小となく、屋賃の高下を問はず容易に得られざる由に候

◆◆日本人市街 を一瞥するに安東縣に於ては家屋建設の餘地は十二分に之有、尚ほ且つ特產の木材は他地方よりも低廉に、且つ容易に購入し得るの便利あらんも、職人、人夫の工賃甚だ高く、洋風建築にて一坪百四五十圓、日本建家屋にても坪約百圓を要する由に候得ば、現在の屋賃率に照して家屋新築は不引合とは何處も同じ現象に御座候、安東縣の

◆◆經濟界が遽 に活氣を呈し來りたるは、昨年秋頃よりの事に屬し、殊に昨今の景氣は素晴らしきもの有之、其一象徵として著るしきは、從來既設市場の權利讓り渡料が百四五十圓に限られたるものが、最近に到つては三百五十圓乃至四百圓の間にありと申す事に御座候、山內安東驛長の語る處によれば安東縣の

◆◆特殊の產物 は木材、柞蠶、大豆の三者にして、鴨綠江の上流より流下し來る原木、製材は一箇年約一千萬圓、柞蠶の繭及び製絲約一千萬圓、大豆、豆粕の輸移出額も頗る多額に上り申し候由數年前の安東港は支那の開港場中に於て

◆◆第二十六位 の貧弱さを示し居り候由の處、最近に至つては第六位に躍進し來り、年々益々發展向上の實を示し候由、此れ一は滾々たる鴨綠江の天惠と、滿鮮を縱貫する鐵道の人爲的施設の賜ものに外ならず候

◆◆安東の貿易 は前記三特產物を陸海兩道によつて搬出せらるゝものと爾餘の諸用品の移輸入さ、尚ほ南北滿洲に吞吐せらるゝ物資との大通路なる爲め、概して通過貿易と稱せられ、大正五年の安東海關の統計に依れば約四千五百萬兩、日貨換算一億圓に達し候由、驚嘆

◆◆安東の物價 は概して京城より高價に生活費の如きも高きは自然の趨勢なるべく候、風候は日中に於て京城方面と大差なきが如きも、朝夕は外洋と長江の氣象的影響を受け、早くも秋風立ちそめ候心地いたし、徒らに袷衣の冷かなるを覺え申候、昨夜來特に蒸熱甚しかりしが同十六日は急雨降り一層の爽涼を加へ申候勿不

◎貔子窩の斃牛

關東州貔子窩管內租家屯第一番戶張萬順外一名飼養の驢馬各一頭は本月初旬より炭疽病に罹り孰れも斃死したり（大連）

慶北共進會

◆割引期間追加 共進會關係者に對する汽車割引期間は曩て報せし如く其後尚不便の點あり先般來滿鐵京管局に對し成歡外七驛の追加出願中の處此程承認し來れり

◆軍艦の派遣 豫て總督府、鎭海要港部を通じ海軍省と交涉中なりし共進會期中軍艦若くは驅逐艦廻航方の件は頗る有望にて開會當時時局に差支なき限り可成鎭海より驅逐艦を廻航せしむる由內談ありたる由なりといふ

◆參考品 七月末日を以て締切りたる內鮮各地よりの參考品出品申込に對し共進會にては去る十四日夫々許可狀を發せり

◎大邱後援會

大邱○○○○に依り○○されたる大邱の○○○○は二十餘名なるが是等の殘留家族の生活狀態はさして困難に陷れる者なく只○○者の期間久しきに亘らば或は生計上困難を來すやも知れざる程のもの僅に一輌あるの外、斯して右に對しては大邱分隊に於て充分の保護を加ふる筈なるが一方帝國軍人後援會大邱分會に於ても此際是等殘留家族の慰問を開始する由多分一兩日中より實行すべし（大邱）

◎群山と滿洲粟

群山港に七月中滿洲粟の輸移入せられたるは三百七十三石にて價額五千三百四十六圓なりし（群山）

◎大邱と在米

八月十五日現在の大邱に於ける在米は鐵道倉庫千四百九十三叭、農銀倉庫二百四十八叭、集散場現在高三千二百十五叭、商人手持糧、糙米精米を合し四千二百叭合計九千百五十六叭なるも內約七割は既に賣約濟のものなりと（大邱）

◎噓の樣な 奧地の土產話

滿洲奧地よりの最近の通信によれば殆んど噓の樣な奇談がある

◆哈爾賓と料理屋の繁昌◆ 哈爾賓あたりでは近頃世の中が物騷になつて定めし人心恟々たる狀態であらうと思つてゐたが事實は恰で大反對で何處の料理屋飲食店でも毎夜〳〵の大繁昌に藝妓や酌婦は目の廻る許りに忙しく繁昌料理の一點張りで通す小料理屋でさへ月に何百圓の賣り揚げがあり酌婦といふも名許りにて紡績女工でもモット綺麗なのがあると思ふ程の劣婦でも酌婦と名がつけば毎夜一時二時頃迄は仕つ切りなしの御座敷とは噓の樣な噺しといふべし

◆大工さんの日當が六圓◆ 長春では大工の日當が一日四圓だが、普通にては中々一日五圓でも取る者もあり殊に夜の十時まで仕事をすれば二圓の增錢を貰へて一日六圓になるとは大した景氣である

米の安賣

★群山にては 鮮人へは廿三錢

◎內地人には二十八錢

群山米穀商組合及び組合員有志の別醵出金三千八百圓を以て群山府內鮮人細民の爲めに白米の廉賣を爲すに決したるは既報の如くなるが其安賣券は一枚一升宛として內地人六千六百枚鮮人一萬一千枚を配給し內地人向は白米一升二十八錢鮮人向は一升二十三錢安賣と定め內地人は奇數日毎に鮮人は偶數日毎に販賣することゝなり即ち十五日は內地人向安賣の第一日なりしが販賣場たる全州通り津商店構內消防具倉庫には早曉より白米を容れたる叺を山積し群山府職員群山警察署員商業會議所員米穀組合員等出張して萬端整ひ定刻午前八時より正午十二時迄安賣りを爲したるが當日は朝來豪雨沛然たるにも拘らず雨中風呂敷バケツを提て押寄せ素晴らしき盛況を呈したるも降雨の爲め混雜を極めたる割合に販賣石數は少量なりしと翌十六日は鮮人向白米安賣日にて朝來快晴なりし爲め鮮人老若男女は種々雜多の容器を携へて早曉より押掛け米穀安賣所前路上には黑山否白山の如く安賣所には前日同樣各員出張して定刻午前八時より安賣りを開始したるが群衆は何れも安き米を受取りて喜悅の情面に溢れ十一時頃は最も混雜に見受けられ規定の如く正午十二時を以て當日の販賣を停止したり然して第二日の賣出成績を聞くに割引券の回

◎地方と頼母子 講の弊害（晉州）

お爲ごかしの財產整理

朝鮮は何處でも無盡即ち頼母子講なるもの大流行で多くの小商人は之を商業資金にしてゐるが慶南の晉州でも現に其の總額を合すれば二萬圓位ある而して之を落すのは大抵七掛位で落札する例であるが是等の講に加入してゐる家は少きも五口以上多きは十口以上も加入してゐるが其の日の遣ひでは未だ嘗て一度も無い樣であるが是れが一旦破綻したら恐らく將棋倒しに倒產するものが續出するであらうと心配してゐる者も無いではない、現に先頃某商店が破產して其の整理方を債權者に一任した所が債權者の多くは講の債權者である所から直ちに一日十圓拂の債權者の職千圓』を造つて債權者のかたをつけたまでは好いが其の爲す所を見るに破產者を保護する事抔は毛頭もなく各自てん〴〵に自分達の貸金の返濟と分配した抔は呆れ返つた次第である

◎珍しい樂天地 年中花が咲いて 其上に造作累々

米が一年に二回半できる

南洋拓殖株式會社取締役加藤雄治氏の談に曰く 南洋と云へば熱帶地方として住はれない樣に思つてゐる者が多いが今回の新占領地たるボナペ及びクサイ島は東經百六十度北緯八度の地點で決して熱い處ではない年均の屋內溫度は八十度位だから

◆年中花が咲いて實を結ぶ◆ と云ふ日本人には誂ら向きの活動舞臺でる其の上熱帶地方特有の風土病が流行しないので一層活動するに適して居る而して同地方は、ボナペ、クサイ兩島で二萬五千町歩程の面積であるがそれに十人から如何にも人口が稀薄で移民の餘地があるかを察せられる食物としてはバナナやパインアップル其外種々の天產物がある

◆米も年に二回半の收穫◆ がある目下は野生の麻が最も工業材料として有望である[illegible]東郷吉太郎中將が同地司令官時代最も確實な投資家を選擇されて事業認可を與へられたので現今では約二千萬圓を投資してる吾會社も三

◎種々の用途ある 石灰岩の採取

米の搗精用と石灰の原料 鮮人の特別用途と土地改良

石灰岩は之を粉末となし精米の搗粉として使用せられ又燒きて石灰を製し建築用肥料用等に用ゐらる外朝鮮の舊慣は屍體埋葬の時に之を使用せり之等の用途に供せんが爲め忠淸南道は各所に石灰岩の採掘行はれ最近道の調査に因るも黃州郡少からず之を適ふ高酸性土地の中和劑として石灰を用ふるときは土壤改良上効果少からず不毛の地も肥沃化し得べく勸業模範場に於ては土壤の酸性調査をなしつゝあるが同調査の完了と相待ち石灰の需要は大なるべく又今年より栽培奬勵に着手せる土耳古葉は石灰岩の存する地方を適地となすが故に之れが所在の調査も必要なるべし石灰岩は別に石上に沈澱堆積せる水成岩にして其色澤種々雜多にして黑きあり赤きあり又白きあり一見識別に苦しむが如きも稀鹽酸を滴下するときは氣泡を生ずるを以て容易に鑑別し得べしと

◎麥粉と間違へ

◇毒を嚥んだ三老婆◇

仁川寺町五番地飲食店安吉吏は某所の街上で麥粉樣の物を拾得し之を麥粉と思ひ隣家外二名と共に砂糖を混じて食したるに直ちに中毒を起し其場に斃れたが外の二名は其の量少かりし爲め僅に生命だけは取り止めたりと而して醫師の診斷に依ると中毒とだけは確實に判斷せるも毒物の殘りなき爲め果して如何なる毒素を嚥下せるやは判明せずと（仁川）

◆値上―仁川の仲仕

物價の騰貴米價の暴騰は到る處に細民の窮狀を訴へ勞賃値上げの聲が擧げられて來た彼等の生活を保護する上に就ては之等の要求も應じなければならぬが仁川當業者では既に之が勞銀値上の必要なるを認め協議の結果當分の間二割方の値上を實行する事となつた從來仲仕賃金は一日一圓廿錢であつたのが今度二割を上るのであるから二十四錢を增して一圓四十四錢となるこ之は本月十六日から實行し十月末まで即ち新穀出廻り期に入つて物價の緩和する迄の間之を支給す

◎缺航の慘話

◇泊る事の出來ぬ人や◇ ◇飯の食られぬ人など◇

之は釜關連絡船が缺航勝で今日も缺航明日も缺航といふときの事であつた缺航の爲めに釜山へ宿泊せねばならぬので何處の旅館も一杯であつたが中には旅宿へ泊る金が無く一夜を驛の待合所に明かしたものさへ尠くない夫れが爲め驛の待合では一夜に辨當を四百本も出た事があつたが所が其の辨當を買ふ金さへ無い旅客があつたので驛の森山君はお菜なしの飯のみを安く賣つて茶料を申受けなかつたのは大變であつた驛の方でも是等の氣の毒なる旅客の境遇を察し取締も幾分寛やかにして發車後と雖も待合所を開放し且つ幹部は私費を投じて其失費を償つた抔は實に同情に値する殊に氣の毒に思つたのは內地人で飯を食はずに甜瓜を食る人や母親が自分は何も食はずに子に辨當を食させてゐる有樣抔如何にも悲慘の極みである（釜山）

◎交換手へ遺物

電話交換手を叱かりつける者の多い世の中に是はまた奇特なこと釜山西町二丁目伊藤合名會社では該交換手の勞苦を感謝するため釜山郵便局へ雜誌婦人世界一箇年分寄贈の旨を申出でたので同局長は之を快諾して其厚意を謝したさうだ（釜山）

◎名物黃州リンゴ

黃海道黃州の特產物たる苹果は今や出盛期となり一日の鐵道輸送のみにても約二千箱を算す（兼二浦）

張三李四

◇衣類を借りて入質◇ 熊本縣天草郡大道村西浦生れ西中嘉三郎（二七）は平壤旭町山本辰三郎方外數軒より衣類を詐取して入質したるため平壤署の手に捕へらる

◇法院出張所に猛虎◇ 咸南三水法院出張所附近に猛虎現はれ同所李鏈方外一箇所の豚小屋を襲ひ豚を咬へ去りしより同所に於ては目下嚴戒中なりといへり

◇江華島にて流行病◇ 江華島にては近頃疑似パラチブス疑似赤痢等發生したるを以て江華島署にては極力衛生上の手當を加へたるため昨今終熄に近しといふ

◇巡査補遊泳中溺死◇ 江華警察署管內席毛島駐在所詰巡査補朴乏興は同島沿海にて遊泳中行衛不明となり同署にて人夫數十を派し搜査せしも死體を發見せず

塚原卜傳

第百六十九席　悟道軒圓玉口演

塚原卜傳或一日洞窟に入つて坐禪を見て居る中トロ〳〵と睡りました、夢中に一匹の白猿が來つて卜傳の前へ蹲まり何か頻りに話すやうでありますが人間の言葉でないから通じない、其中件の猿が先へ立つて手招きをして步き出したから卜傳興を覺え、後に續いて往くこ片時の中に見知らぬ深山に分入り、險しき岩の陰に件の白猿は姿を隱しました、卜傳恍惚として四邊を見廻すこ松柏森々と生茂り左手の方は千丈の谷間にして底には一道の淸流音を立て、流れ、右手の方は山又山の峰高く、白雲常に靉靆して岩間の櫻春知り顏に咲き匂ひ、何こいふ鳥か名は知らねども遠近に飛廻つて美しき聲を放ち實に土居の桃源鄉、東海の中にある蓬萊山の景色もかくやあらんと思はれるばかり、ア、絕勝の名山かな、功成り名遂げて身退く時には斯る仙鄉に住居したきものと深く心に感銘しました、猶も四邊の景に心をつけて見巡つて居る中にザアこいふ雨の音、驚いて我に歸れば之れ南柯の一夢にして、兵書を枕に眠つて居た、不思議に思つたが其儘にして居りますと其れから三月ほど經つて笠間の城下へ一人の老人が飄然と入つて來た、白髮白髯の道士にして身には麻衣なる衣服を著けて居るが言ふ所は算を指すごとく吉凶禍福を示し過去の因緣を說きまする、信仰の人雲の如く集まつて行基菩陀の再誕と尊んで居る、此評判を聞いて小太郎の卜傳、城內へ右の道士を招じ、對面して見るご洵に聞きしに勝る大德の聖であるが名もいはず年も語らず、不食不眠の行法を守つて居ります、稚々卜傳先生の過去を說きましたが言ふところ少しも違はず、實に卜傳も舌を捲いて驚きました、さて卜傳未來の敎へを乞ふと道士の翁が『御身は劍法にて日本隨一と呼ばれ齡三十に足らずして天下に名を揚げたのは實に羨いものである、けれども滿れば缺ぐる月の理り近く災が起つて其の身を亡ぼして了はなければならない運命となつて居る、已に御邊は三度の大難あつて其中の一つだに命を保つべきものでない、其れを遁れしは守本尊日吉山王權現の加護である、功成り名遂げて身退くは古の陶朱公、張良の跡を踏み山中に隱遁して其災を遁れるに如かず、我日本國中を遍歷するに四方に名山數あれども飛驒國乘鞍ケ嶽の奧は神仙の地にして之れを除いて外に斯程の名山はあるべしとも思はれず、御身若し隱遁の心あらば貧道案內いたし其地をお敎へ申すでござらう』と不思議なる翁の一言に、卜傳大に喜びまして『隱遁の儀は拙者常々より望み居る所、然らば敎へに從つて其地を一見仕らん』と茲で翁の老人と二人で笠間を立つて飛驒國乘鞍ケ嶽へと乘込んで參りまして、段々山奧へ分入つて見ると不思議なるかな先達て夢中に見たる景色に少しも違はず、島の音花の色悉然以前の夢を再度見るごとき心地して呆然として佇んで居るこ、翁『いかに小太郎、汝此地を終の處の土こせよ、日吉山王の敎へこあるぞ』と右の老翁が卜傳に言つて其儘何處こもなく立去つてしまひました、實に不思議こいふも餘りある次第、卜傳一度は驚き一度は喜び、其儘立戾つて笠間へ歸り、妻子にも此由を語り、太守へも願ひを上げて愈々乘鞍ケ嶽の山中へ隱遁することに相成りました、太守惜しみ給へども卜傳强ての願ひこて眠ろなく家督は長男長丸に繼がせまして輔佐には秋山源吉仁科與四郎其外島山下國二老人にも能く輔小天正八年六月卜傳に於ては老僕一人小者一人を召連れ常州笠間を出で遙々と飛驒國乘鞍ケ嶽の山中へ分發り、里人に命じて一軒の住居を造り茲に住んでまだ壯年の身ながら隱遁をいたしまする。

◎榮昌商會の招宴 仁川本町貿易商榮昌商會主鄭應殷氏は十八日午後李埼容子爵の下仁を機こし招待會を港元に開き仁川の主なる者十數名をも招待せり

八月二十日　九星
舊七月十四日　己亥
木命　四綠　閉　平　女　月

▲四綠 平地に波を起さんとす新事見合北方は吉曜劍難▲五黃 祖先の祀ふ事有日新事手控萬事は吉商丁寧にせらるべし▲六白 素氣無き日有日新事手控盜難は吉萬觀切にせらるべし▲七赤 ぼんやりした事有日新事手控萬事は吉女難失物用心の事▲八白 不眠の事有日新事手控萬事は女子は行儀を守らるべし▲九紫 大願成就の日轉居開業入學名弘建築求職金件婚禮定期樂等萬吉▲一白 造化精妙の日轉居旅行出迪名弘求職命發婚禮醫藥等萬吉▲二黑 他の威に屈節を曲かんさす新事手控萬事土工は財げなし▲三碧 猫子輪り日轉居開業行商名出求盈棟上嫁娶取法律出動等萬吉

人參エキス
京城本町壹・電話一四八八 八七〇〇番
◎ツ 津村兄弟商會

京 呉服
京城永樂町二丁目
たまや出張店
電話一二九六

最上淸酢
日本一
マルカン印

ほまれ味噌

最上醬油
龍
日本醬油株式會社
京城出張所
電話二五〇番

第

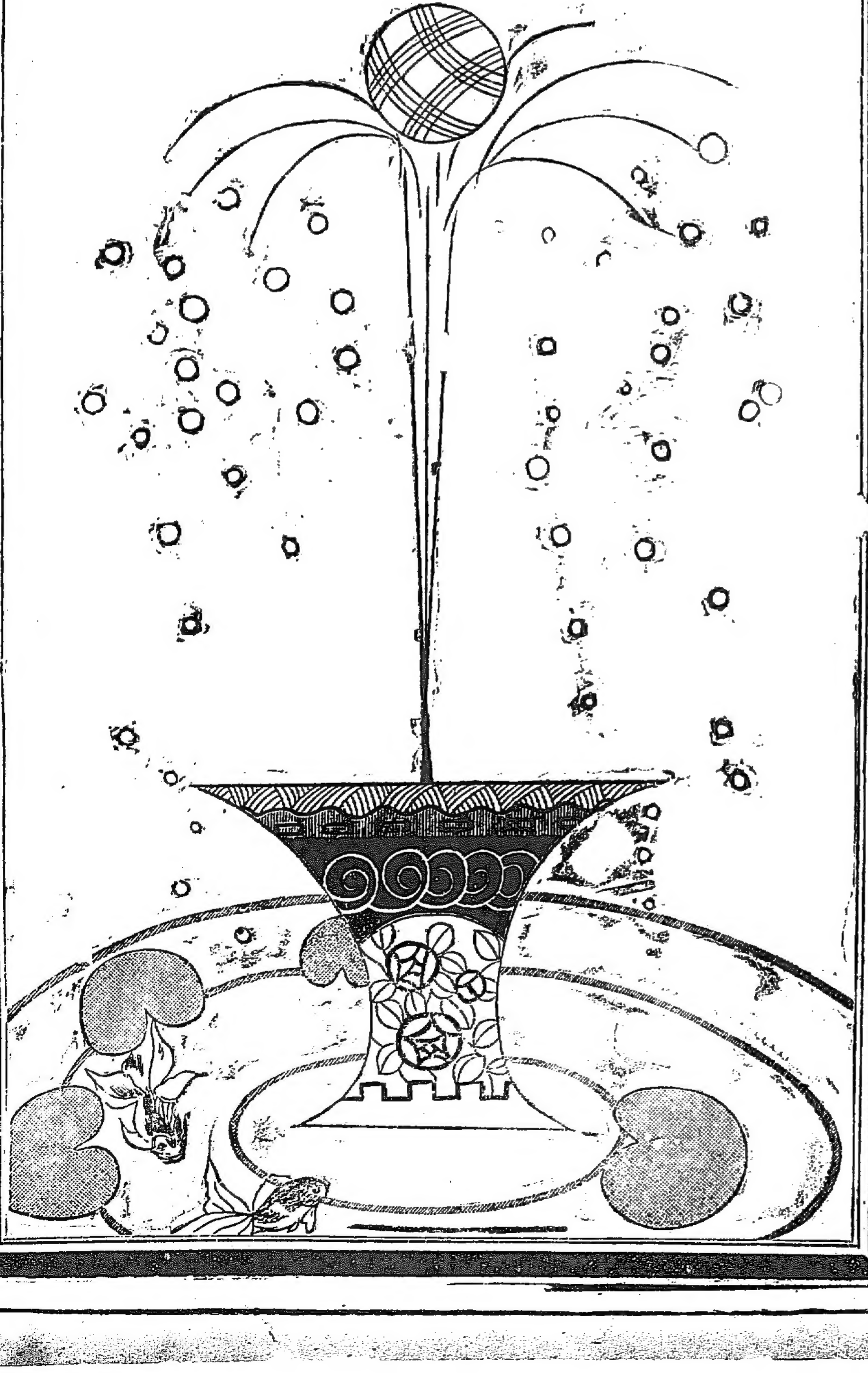
汽車

京釜線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京釜連絡 京義線（北行） 同（南行） 京仁線（仁川行） 京元線（北行）

賣れる！賣れる！賣れる！
盛んに賣れる
羽が生へて飛ぶように
美味と滋養でよく賣れる

■池田理學博士發明
■文明的調味料
■日英米佛專賣特許

味の素



"PINE"

愈々書き具合
能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價は
パインを徐き他に知るべからず

太平通 京日代理部

不具合 又自然破損は
交換快諾 又は無料修繕

特許既願防破装置附

緑出式萬年筆	金六圓八十錢
インキ止式短軸	金四圓九十錢
インキ止式實用向	金三圓八十錢
パイン學生號	金二圓八十錢
ビジネスペン（事務用）	金一圓九十五錢

御料

御園白粉

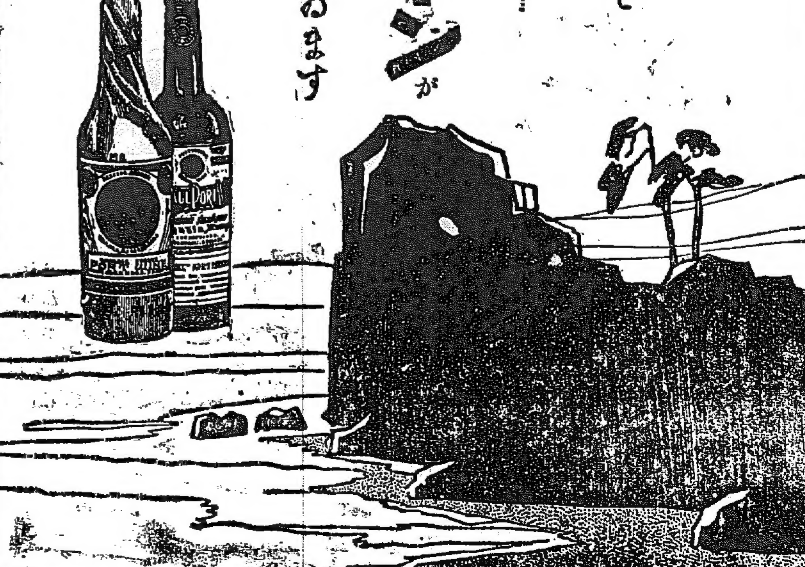
御園白粉及御園化粧品は創製當時から畏くも御料として謹製し今日に至る迄十數年引續いて此光榮に浴して居ります御化粧料で御座います。

されば其品質の優良完全にして衛生上有効なる事は他の化粧料と一度てもれ使ひ比べて下さいますと、誰方様にも直ぐ御分りになります。

(471)

國中
津々浦々に至るまで
葡萄酒といへば……
七大醫學博士の賞讃ある
赤玉ポートワインが
夏の保健に盛に歡迎されてゐます

水や氷やサイダーに
赤玉ポートワインを適宜に混せて召上れ云ふに云はれぬ美味さで加るに殺菌力强大なれば惡疫を豫防し胃腸を强健にし夏季には欠かしてならぬ滋養强壯飲料です



京城日報　第五版

京城日報

所謂言論制遏

世に絶對の自由なく、又絶對の不自由あるなし。稱して自由と云ひ不自由といふ所のものは、其の中間を往來する程度の差違に外ならざるのみ。自由を欲求するは人の天性なりと雖も、法律命令に制限せられ、道徳習慣若くは利害關係に制限せられ、現に得つつある所のものは、極めて狹隘なる一小部分に過ぎずして、社會共同生活の爲には、吾人は共に大なる不自由を忍ばざるべからざるは眼前の大事實なり。若し此事實を無視し、我が欲する所を貫徹せんと欲し、其の影響流弊の如何を顧みざるあらば、是れ直に亂民のみ、狂漢のみ。

今回政府が各地の米騷動に關する新聞記事に制限を加へ、内務省發表以外のもの、掲記を禁じたるは、憲政の下に於て罕に見るの現象にして、吾人も政府と共に之を遺憾とするものなるも、是實に餘儀なき權宜の處置たるを承認せざるを得ず。是等の記事の制限は、新聞業者に取りて苦痛なるに相違なく、成るべくならば自由解放を希望すと雖も、かゝる記事を制限なしに掲記するは、實際に於いて社會的病毒を傳播するものなるが故に、苟くも公安に留意する者は、多少の不自由と多少の犧牲とを忍ぶは、別段異論あるべからざる筈なり。而も之を以て憲法の精神を沒却し、惡政の至大なるものゝ如く吹聽し、猛獸の如く吼ゆるものあるに至りては、吾人竊に同業者の爲に之を恥づ。彼等は揚言すらく、今日の如き不穩の場合に在りては、寧ろ之を全國民に周知せしめ、國民自身の警援に對する警戒を促すを必要とすと。知らず日本國民の大多數は、彼等が期待する通り、理性の判斷に依りて自制心を發揮するほど、しかく進歩せる國民なりや。最近に於て繰返されたる各處の騷動を見るに、附和雷同、正邪是非の外に脫し、群衆心理の險惡點に走れるは、辯護すべからざるの事實ならずや。況んやかゝる騷動に參加する者は、大抵無知蒙昧の惡民共にして、初めより理性の缺乏せる徒輩なるに於てをや。想ひ起す兩三年前曾てジゴマ式貧劇の行はれたることあり。各地の新聞紙は面白半分に大なる標目を附して之を報道したるが、其影響は意外にも甚大なるものあり、幾ならずして全國に蔓延し、爲に少年子弟の前途を誤りたるもの數十百の多きに及び、當時の官憲は後れながらも之に心附くと共に、各新聞社に對し、懇談的に此種の記事の差止めを以てし、次第に此の惡風潮を矯正するを得たりき。今回の騷動はジゴマ式喚の如き稚惡的のものにあらずして、一時の群衆心理とはいへ、殆ど露國革命に於ける暴動に見ゆる如きの惡性を帶びたり。而も事は食糧問題たるが故に、細民の間に傳播する甚だ速かにして、一日北陸の漁村に烽火を擧げ、日ならずして關西の大都を襲ひ、滔々として防ぐ可らざるの勢を致したり。若し當路官憲にして、最も迅速に最も適正に制遏の手段を講ぜずんば、全國を化して暴民跋扈の巷と爲すを免れざるべし。此場合に當つて群衆心理を唆るに最も有力なる新聞記事に制限を加ふるは、蓋し止を得ざる所にして、吾人は大なる不便と不自由を浴びせ掛けられ乍らも尚此の制限に向つて反抗すべき理由を發見する能はず。或はいふ新聞記事の差止は、徒らに社會を暗黒化するものにして、事實は事實として飽まで存在する以上は、何等の效果を齎さざるのみならず、却つて揣摩臆測の流説を傳播せしめ、人心を僞ふこと一層大なるべしと。成程新聞記事に揭ぐることに依りて、事實に動きなきは勿論なれども、其の事實たるや一局部に限りて、傳播力を缺き、或は多少の傳播力を有するも極めて緩漫なるを免れざるが故に、治安を維持する上に就いて、非常の差異あるとは言ふまでもなかるべし。蜚語流説の行はるゝの不祥たるは論なき沙汰なるも、更に之に大なる弊を添へ、其の傳播力を大にするこいづれぞや。

若夫言論報道に制遏を加ふるは憲法の精神を蹂躙するものなりとの議論の如きは、平時に在りては正論たりと雖も、非常の場合には自ら非常の手段なかる可らず。假へば事の外交軍事に關するものは、吾人は現に報道の自由を有せず、是れ國家の行動に損害を與ふるの虞あるを以てなり。今回の米騷動に對する國家の行動は、外交軍事の如き積極的のものにあらずと雖も、其の禍害に備ふるの點は同一なり。吾人は自由を欲するも放縱を欲せず、自由には多くの制限あるを免れず、唯其れ片時も早く民心鎭靜に歸し、かゝる不祥なる行政命令の速かに徹去せられんことを庶幾ふのみ。

[illegible]▲ジャム　果實の代りに野菜及び少量の砂糖より製したる物にて製造方法は門外漢には知られ居らず

[illegible]を聚集販賣し居りしが之亦禁止され目下人形製造用として硝子にて毛髮を製造せり ▲石鹼　苺の油と輕石より製し品

▲自轉車　二個の鐵環を作り其間に小さき多數のバネを入たるものにてアスハルトの上にては回轉するも純ゴム製タイヤの如く輕快な[illegible]り

○支那炭の輸入

本邦炭は九州を第一とし筑豐炭田[illegible]方にて消費し尚ほ幾干もなきこ[illegible]北九州は工業の勃興驚異すべきもの有て此等多數の工場完成の曉は九州炭を此地[illegible]開拓の餘地綽々たるものあるも[illegible]盛なる工業界其の他の遠き將來に亘る需要に對して供給し不足を告ぐらなきやは疑問である此時代に[illegible]する事は最も必要である殊に支那人は勞銀も非常に低廉であるから採掘費も日本にて深き坑道に於て採掘するよりは遙に生産費は低廉[illegible]

本紙定價　壹部金參錢 壹ケ月七拾五錢 ▲三ケ月前金貳圓拾五錢 ▲六ケ月前金四圓貳拾錢 ▲壹ケ年前金八圓拾錢 ▲郵券代用一割增
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五拾錢 ▲二號七字詰同二圓 ▲四號九字詰同二圓 ▲六號十七字詰一圓
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號　編輯局六〇九番 營業局六〇・一六〇番 ...
振替京城三〇〇番

朝鮮鑛泉狀況(三)

▲東萊溫泉(東萊)　慶南東萊郡東萊面溫泉里即ち釜山港の北方膠域を隔つる一小平野に在り四圍山脈を以て包まれ東方の丘陵は雜草稚松翠色濃く西方金井山は海拔一千數百尺綺色の奇石恰も天を摩するに似たり古刹梵魚寺、東萊古城、左水營等指顧の間に在りて實に南鮮第一の勝地たり宿屋浴槽の設備完全し交通の便備はれり泉質は總て鹽類泉にして溫度は五十度乃至五十三度湧出口によつて異なる一日の湧出量は各室を通じ約三千石に達す東萊は土地の便、氣候の順、湧出量の豐富により優に浴客の吸收に適し實は慶南の一名勝地たり

▲溫井院溫泉(黃海)　京義線金郊驛を西方に距る七里十三町即ち平山郡溫面溫井院に在り古來溫泉を以て顯はる、南方一帶は畓にして田餘に黃海山の秀峰を望み風致に富む鮮人百八戶四百餘人內地人八戶二十人內地人宿屋一戶雜貨店二戶鮮人宿屋二十餘戶あり道路は一般に改修せられ金川、平山、海州及び海州方面より牛車、騾車、自動車等の往來自在なり浴場の設備は日本式遊館片平家にして五個の浴槽に仕切り患者及び內鮮人且男女別に區別し稍設備整ひ居れり泉質はアルカリ泉にして溫度攝氏卅九度一分湧出量約六千石本溫泉は警務總監部の分析試驗に依れば無色清澄臭氣なく其の反應性比重は攝氏十五度に於て一、〇〇七萬千分中に含有する固形物總量は三、六一〇一にして其の成分中には炭酸那篤留謨、硝酸加爾叟謨、硝酸加留謨、酸化鐵及び礬土、硫酸加留謨、硅酸、硫酸麻偏涅叟謨、遊離炭酸等を含有す浴客は遠く京城開城方面より來り一箇年の延人員約二萬餘人なり

▲龍岡溫泉(平南)　龍岡郡海雲面青井里に在り其の東方は青山七峰の小山脈南北に走り西方は西海に向つて展開し其の海岸を距る二里の地點にして內地人宿屋三戶及び雜貨商等あり大正二年關野工學博士の鑑定に依り千數百年を經たりと稱さる粘蟬碑は東方一里溫井里眞池洞間の南側草地に存し一顧に値す明治四十五年溫泉道路の開鑿後は全く其の面目を改め人車馬車は勿論自動車の運轉自在なり此の地點架瀨を距る二里自動車賃五十錢人力車賃一圓三十錢溫井里眞池洞間三等道路開通す內地人七戶二十五人鮮人五十六戶、二百四十五人宿屋內地人三戶、何れも浴の設備あり鮮人宿舍十一戶內地人向浴場は有三戶の宿屋內に有り各相當の設備あり鮮人向浴槽は縱六間橫四間の亞鉛葺木造にして男女別に區劃し更に之を各二槽に分ち一槽の廣さ縱九尺橫五尺深さ二尺七寸餘りあり泉質はアルカリ泉にして溫度は湧出口に於て七十度以上浴槽に於て四十度內外一日の湧出量千五百石近來交通の便なるに伴ひ黃海、平北兩道及び京城等より來浴する者多く一箇年間の浴客延人員實に三萬二千餘に達す浴場隘なきも鹿梁灣に公醫あり自動車の便ある爲め應急診療に支障なし

▲龍潭溫泉(平南)　成川邑內を距る西北四里三町の處即ち成川郡龍泉面龍興里に在り其の後方約四百米突を隔てゝ白雲山と稱する火山脈あり附近一帶は樹木少く野に綠草なき無趣味の地なり戶數七十餘戶悉く農を業とし宿屋を副業とす溫泉地は四面山を負ふと雖も人馬車の便あり平壤より馬車賃三圓三十錢輿賃六圓人力車三圓三十錢成川より馬車賃一圓二十錢輿賃二圓四十錢宿屋十三戶春秋浴客多き時は附近の農家旅宿を兼業す浴場の設備は稍完全にして且清潔なり瓦葺平家建の完全なる浴槽を設く其の數地十八坪二合浴槽は男女に區劃し石造六個にして各六尺四方深さ三尺あり泉質鹽類泉溫四十七度一の湧出四百石一年間の浴客延人員一萬八餘漸次盛況に赴く見込あり

兒童學の進歩(七)

於朝鮮教育研究會
高島平三郎氏講演

又之に疾患が生じて液が出なくなると所謂十五の涎くり、萬年新造一寸法師の樣なものになる。甲状腺よりの分泌に依つて人が生長するものである事が最近十年前漸く發見された。從つて此の液の分泌が無ければ人は發育しない事も明かになつたのである。之をホルモンと稱する。ホルモンとは希臘語で喚び覺ますの意であるホルモンが身體を循環して始終喚發す、又男女の生殖機關からも一種のホルモンが出て身體中を環り、夫れに依つて男は男らしい氣性に成り女は、女らしい氣性に成る事が判つて來た。夫れで女が四十五六歲にもなつて女の役目が終はりホルモンの分泌が少くなると男の樣になる。男と同じにはならぬが、男に近いものになる。同時に男も亦然りで、液の分泌が止むと、極く優しい女性に近くなる、支那宦官抔は夫れであるが、昔は朝鮮にもあつたらうと思ふ。女にはならぬが女に近くなつて來る。

甲狀腺の疾病に二種あり一を粘性浮腫と稱す之は甲狀腺が萎縮缺損する病氣でこに罹ると、緩小瞭調皮膚冷と云つて、脈搏は鈍くなり皮膚は冷ける。顏貌茫然自失しぼんやりして馬鹿見た樣な顏になる眼裂狹小…目が細く小さくなつて大きく開けない消化液分泌少食思少…食慾が減る。代謝機能減退、外皮乾燥…新陳代謝の作用が鈍くなり皮膚は乾燥して老人の樣になる。指短人、指端鈍……指が短く且つ指の働きが鈍くなる。即ち不器用になる。粘性浮腫の話と違ふが指を見ると直判るが、指の短く且つ先の大きい人は餘り器用でなく機敏に働く側の人ではない代り、落着きがあつて、物事には飽きずやり通す。配偶を選ぶには指を見るもよい。自分が短かく太いならば細君は長く細い指の人がよからうし、長く細い方ならば短く太い人を細君に選ぶ…兩方同じだと退角氣が合ぬ夫から嗜眠…眠くて堪らない。感觸鈍感…感覺は遲鈍になる。鈍…鈍ですね…思想沈靜に動かない。寒冷感…始終寒い感情麻痺…四肢不動…手足が活潑寒いと云つて、夏でも綿入等を着る。呼吸緩漫……呼吸が鈍くなる。もう一つは之と反對徴候を現はすバセドウ氏病と稱するものである。私はバセドウ氏病に罹つた患者を見た事があるが、此の病氣に罹ると、甲狀腺が肥大し、皮膚溫…皮膚は溫かくなり、顏貌緊張眼裂開大、眼球突出と云つて、眼が大きくなつて飛出る。消化液分泌多食思多…消化液が多くなつて、物が食ひたくて仕樣がない。そして代謝機能は亢進し、外皮は濕潤で潤ひを有つて來る、又指は小指端尖…指は細長くなり端が尖る。不眠…眠れない。焦燥…落付きがなくなる。思想流逸、感情亢奮…考へが始終變り四肢振顫…手足がブル〳〵顫へて仕方がない。溫熱感と云つて始終身體の且つ呼吸は急速になる。之がバセドウ氏病の徴候である。此故に世間からは生れ乍らの低能兒だと言はれる樣な子供か、或は此の粘性浮腫であるかも知れないから世の父兄はさう云ふ子供をもつて居るとも決してさう悲觀すべきでは無い。

並行線

瀧閑村

(五十九)

おのぶへ宛て、清策から復手紙が來た。

『私がこの位眞心を披瀝してゐるのに對して、何等の返事をくれないのは、私の赤誠の足らないのか、又私の赤誠を受け入れてくれないのか』

と冒頭してあつた。

『私の赤誠が足らなければ仕方は無いが、若し私の誠を容れてくれないのならば、私は却つて此理由を訊さねばならぬ。』

と續けてあつた。

『私は今幸ひに成功に近づきつつあるので、物質上あなたに要求するものは少しも無い、脅迫して金錢に代へやうとするやうな惡い意志は毛頭無いのだから此點は安心して貰ひたい。』

と記してあつた。

『東京と離れて居るのは急行で四時間、往復しやうと思へば一日で足りる手紙と云ふものは意を盡し難いものだから、御眼にかゝりに行かうかと思つても見たが、あなたの爲に善くあるまいと考へ直して差控へてゐる。』

と述べてあつた、そして

『是から先でも私の行動は常にあなたの爲に圖つてゐるのである事を知つて頂きたい、そしてあなたの幸福を祈つて止まぬものであるやうに、總てを善意に解釋して但むる處の無いあなたの本心を打明けて頂きたい。それに依つて向後の私の方針を定めねばならぬ。』

と結んであつた。

是を床に讀んだおのぶは又涙が流れた、悲しいとも思ふのでも無いが只涙のみ流れた。

木犀の甘い、人なつかし香が生敷町の所々に漂ふ時となつた宮太郎は何處からか金木犀の一枝を貰つて來て机上へ挿た、秋らしい香りが室を罩めた。おのぶは其室へ入ると、直ぐ鼻を鬱めた。

『何だか、いやな匂ひね。』

『馬鹿な、木犀をいやな匂ひと云ふ奴があるものか。』

『私も木犀は嫌ひぢや無かつたけれど、何だかムカ〳〵するです。嘔ませうよ』

『變だね。』と宮太郎は笑つた。

併し變な事は是に止らなかつた炊事の時に漬物の匂ひを嫌がつたり、匂ひのせぬものを匂ひがすると云つたりした。食物が非常に進むかと思ふと、さうしても喉を通らない事もあつた、食物の嗜好が著るしく變つた。

『貴郎、私何だか變ですよ』とおのぶは或日宮太郎に訴へた。

『どんなに變なんだ。』

『何だか……まだよくは別らないけれど……妊娠ぢや無いかと思ひますわ』

少し顏を赧めるやうに云つて、俯向いた、こんな時にも涙が落ちた。

『妊娠?』

宮太郎は電氣に打たれたやうに感じて、戰慄を禁じ得なかつた。

其の日も晝飯を食ふと間も無くおのぶは裏へ行つた、宮太郎が注意してゐると、そこでゲー〳〵云つてゐた、晩にも同じく吐いた。

モウ妊娠は疑ふ所が無かつた。

『人の親になる』

さう考へると宮太郎はじつとしてゐられないやうに思はれた。

資本金壹百萬圓
京城
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
株式會社 漢湖農工銀行
支配人 遠山熙
支店 開城、春川、淸州、忠州、公州、大田、江景、論山、鐵原、鳥致院
所在地
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

田尻稻次郎博士序　田邊玄平先生著
最新パン製造法
一部定價六拾錢 上製八拾錢 送料六錢
パンが經濟的にして衞生的食品たるは何人も疑はざる所。本書は多年海外に在りて專らパン製造法を研究し歸朝來斯業界の大家として名聲嘖々たる田邊先生が特に本社の爲めに執筆せられたるものにて田尻博士及諸大家の甚深なる推稱を受け、出版來パン製造の寶典として好評湧くが如し。▲白パン各種▲フランスパン▲ロールパン▲食パン▲菓子パン各種▲支那饅頭▲玄米パン▲豆パン▲雜穀パン▲牛乳パン▲落花生パン▲家庭用パン各種▲乾パン▲其他各種の製造法は實に百餘種に達し文章平易、說明親切、一讀何人も容易に各種のパン製造法に通ずるを得べく、營業者は勿論、衞生と經濟とを重んずる一般家庭の人々、脚氣胃病患者等には又缺く可らざるの良書也。
田印 乾燥パン種　七個入一包 一個で十五斤のパンが出來ます　定價參拾錢　送料貳錢
パン製造に必要缺く可らざるものにて田邊先生が苦心案出せる良品なり。一時に拾包以上の注文者には定價貳割引。
東京本郷お茶の水
株式會社 東京割烹講習會
振替口座東京九四壹番　電話小石川貳六四貳番

鑄物職工募集
鑄造に經驗ある日鮮人十數名募集す希望者は履歷書を當所修理課宛て提出すべし
大正七年八月
三菱兼二浦製鐵所

電氣的能率優秀なる最新式
完全岡田乾電池
特長 構造最も完全 電量頗る多く 恢復力に富み 隨て壽命長久
種目 通信用各種 鐵道型 遞信型 陸軍型 海軍型 其他各官廳型
▲營業種目▼ 各種乾電池 懷中電燈 電球並ニ附屬品 其他一般電氣用品各種
型錄進呈
(製造販賣) 岡田電氣商會販賣部
東京南品川七丁目　電話高輪二八五番

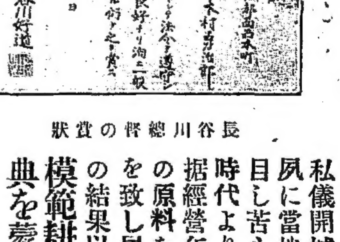
外科 皮膚科 瀬戸醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目)　電話二四九八番
(診察夜九時迄)
醫學士 瀬戸潔

警務總監部認可
衞生無害 はい取散　定價壹個金拾五錢
はいを殺すは之より早き法なし
布せばはい室の內外を問はず直に死する事請合其外あらゆる害虫にも奏効保證
朝鮮一手販賣店　京城府黃金町三丁目一九一番地
尖山本商會　電話五三四番
各地特約店御希望の向は御照會を乞ふ

蚊取線香用
かとりたどん
定價壹箱二十個入金貳十五錢
一名蚊取炭火の代用として一時間以上を保ち高尙なる香りは室內に充ちカトリ用として此れ以上なし

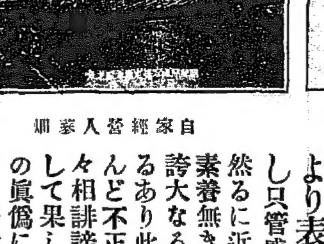
新舊對照
朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士 加古貞太郎先生序文
舊韓國財政顧問附財務官 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂
大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢
本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたる 一目瞭然たるもの
道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮清西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を揭げ
本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通、產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

開城人蔘各種廉價發賣
◎◎總督閣下より受賞◎◎



京畿道開城郡松都面西本町
木村勇治郎
右者定植人蔘耕作者トシテ法令ヲ遵守シ大正六年ノ耕作成績良好ナリ洵ニ一般耕作者ノ模範ト爲スニ足ル仍テ之ヲ賞ス
大正七年六月一日
朝鮮總督伯爵長谷川好道

長谷川總督の賞狀



自家經營人蔘畑

私儀開城在住以來既に二十有餘年夙に當地の特產品たる人蔘業に着目し苦心研鑽を重ね遠く韓國政府時代より政府の耕作免許を得て拮据經營年々政府の專賣品たる紅蔘の原料を納付し併せて白蔘の製造を致し居り候處多年苦心慘憺努力の結果以御蔭每年總督府より模範耕作者として授賞の恩典を蒙り今回又々總督閣下より表彰さるゝの光榮に浴し只管感泣罷在候次第に御座候
然るに近年人蔘に就き何等の經驗素養無き奸商輩各地に簇出し徒に誇大なる廣告を弄して跳梁跋扈するあり此等の販賣に係るものは殆んど不正品を混交せざるは無く各々相誹謗して社會を欺瞞し諸彥をして果して孰れか開城人蔘なるやの眞僞に就き深く疑惑を抱かせらるゝの狀況にて斯くては遂に有名なる開城人蔘の眞價を失墜するなきを保せず誠に憂慮慨歎の至に不堪候依て不肖玆に顧みる處あり之等不正なる群小人蔘商の跋扈を防止し飽く迄眞正なる本場開城人蔘を江湖に提供し以て各位の疑惑と不安とを一掃し益々各位の健康と福祉を增進して社會に貢獻の爲め廣く白蔘發賣を開始致候條今後何卒陸續御用命仰付被下度奉懇願候
登錄商標
朝鮮總督府專賣局用 人蔘耕作 開城白蔘製造 各種卸
開城西本町
木村勇治郎商店人蔘部
電話三八番　振替京城二二七七番
人蔘相場表は御申越次第御送可上候

◇時局重大乎

時局重大の爲め 天皇陛下には二十一日日光より還幸あらせらるゝやに洩れ承る（十八日午後四時四十分東京發至急電報）

◇我主力出動

陸軍省公表＝我第十二師團の部隊中既に浦鹽に上陸せる者は其の一部を同地に殘置し主力はニコリスク方面に集中中なりしが十二日頃イゴクラエフスキ北方のチ軍陣地が優勢なる敵の攻擊を受け情況危殆に瀕しつゝあるを以て十六日夜先頭部隊を以てニコリスクを發し赴援の途に就り（十八日午後三時五十分東京發電十九日午前零時着）

◇大谷司令官上陸

十五日夕門司を出帆したる浦鹽派遣軍司令官大谷大將は一行を從へ十八日早朝浦鹽に上陸せり（東京特電）

◇聯合軍の援助を請ふ チエック、スロヴアック軍の窮狀

チエック、スロヴアック軍は在浦鹽列國武官に左の件を傳達せん事を依頼し聯合軍の援助を請へり（浦鹽電報）

後貝加爾方面の敵は漸次增加こ共にチ軍の境遇日に困難に赴き如何に努力するも目的の遂行困難なり然るに聯合軍の共同作戰範圍は何こなく沿海州に限られあるが如し西方にあるチ軍は今やヴオルガ河より貝加爾湖に閉塞せられて救援の必要あれば聯合軍の援助も貝加爾方面に向ふを必要こす此方面の俘虜軍は三萬火砲七十門機關銃二百是に對しチ軍は兵七千火砲六門のみにて比較にならず且つ冬期は一月半後に來り益々窮狀に陷らん冬期の來る前に十分の兵力、軍需品の援助無くばウオルガ河方面のチ軍は悲慘の境遇に陷らん

◇反過激派チ軍に參加せん

過激派はチエック軍に參加する爲に北方及びヴオルガ河方面へ移動しつゝありこ報ぜらる（哈爾賓電報）

○チ軍オルコフ河退却

某所著電＝十六日チエック戰報に依れば十五日夜半ハバロフスク方面の敵軍はオルコフ河を攻擊し激戰の上チ軍はオルコフ河ステパノフを退却し暫く守勢に轉じ敵は益々南進するものの如し（東京特電）

◇瑞典公使三國代表

在莫斯科瑞典公使は五日以來米、英、日三國を代表し居れり（華盛頓電報）

◇獨墺兩帝重要會議

獨帝は大本營にて墺國皇帝こ重要會議を開きたるが政治上軍事上に關する問題は最も難局に達しつゝあり（アムステルダム電報）

◇英軍バーク到著

英國遠征隊は土獨兩軍の進擊に對し防禦に當りつゝある露軍及びアルメニア軍を援助す可くバグダットよりバークに到著せり（合同通信桑港電報）

◇佛軍防禦物奪取

佛軍はラシニーに於ける主なる防禦物を奪取せり（巴里電報）

◇英軍モルランクールに前進

アルベールを包圍中の英軍はアンクル河を通過しチエプヴアル森林を占領しモルランクールの東方へ前進しつゝあり（倫敦電報）

◇フランダース砲兵戰盛ん

獨軍の砲兵戰はフランダース地方ラバツセー及びイーブル間に於て盛んに行はれつゝあり（巴里特電）

◇過激派放逐命令

十二日庫倫西林村にては過激派こ反過激派この間に戰鬪起り反過激派は敗走したり支那政府は過激派を國境外に放逐せん事を軍隊に命令せり（北京特電）

◇佛使節團長

濠太利へ派遣されし佛國使節一行の團長アルベール、マン氏は同地滯在中卒中の爲め逝去せり（巴里電報）

◇陸軍異動發表近し

去る九日金久保旅順要塞司令官第十師團長に竹內交通兵團長浦鹽派遣軍司令部附に轉補の結果是に伴なふ陸軍異動は既に人選を了し上奏御裁可を經たれば兩三日中に發表の筈にて交通兵團長には臺灣總督府參謀長山田陸槌氏親補せらる可しこ傳へらる（東京特電）

◇內相の覺書 春秋會に對し

新聞通信雜誌記事差止問題に關し慨起せる春秋會は三度內相を訪問の上交渉し左の覺書を得たり（東京特電）

一、米價騰貴に關する記事は公報及び是を基礎こする記事たる事を要す

二、公報以外こ雖も煽動的に亘らざるものに就ては掲載を禁止するの趣旨に非ず唯十分の注意を望む

◇大阪新聞大會

十七日夜大阪ホテルに於て近畿新聞通信記者大會を開會せるが出席者百三十六名現內閣の米騷擾記事禁止は憲法の蹂躙權力の濫用なりこて彈劾決議せり（大阪特電）

◇堂島新市立會

大阪堂島市場にては二十日頃より新市立會を見るに至る可し（大阪特電）

◇馬山稻發育不安

十一日以來降雨續きにて稻の發育氣遣はし（馬山特電）

◇群山米好評

大阪上野商店へ群山米二百叺入荷せるが品質良好乾燥中分無く四十二圓にて御祝儀商內出來たり（大阪特電）

◇高島中將通過

新任第十九師團長高島中將は十八日夜關釜連絡船博愛丸にて來釜ホテルに休憩し夜行列車にて赴任せり（釜山特電）

○朝鮮在米調査（五）

及び新米出廻迄の過不足見込量

日本社に對する各府郡の回答＝

▲長水郡（全北）在米五千九百五十七石新米出廻期迄剩餘千五百廿石
▲新義州府（平北）在米三十石新米出廻期迄剩餘約十石
▲廣州郡（京畿）在米二千三百八十七石新米出廻期迄剩餘千五百石
▲杆城郡（江原）在米約二千五百石新米出廻期迄過不足なし
▲孟山郡（平南）在米約六十石新米出廻期迄剩餘約二十石
▲寧遠郡（平南）在米九石新米出廻り期迄不足十一石なるも安州成川より移入
▲求禮郡（全南）在米五百石新米出廻り期迄不足六百石
▲河東郡（慶南）在米糀二千二百六十石新米出廻り期迄不足三千七百五十八石
▲梁山郡（慶南）在米八百五十石新米出廻り期迄不足二百石なるも麥を代用す
▲長湍郡（京畿）在米四千石新米出廻り期迄過不足なし
▲固城郡（慶南）在米二千六百卅五石新米出廻り期迄不足千百十五石
▲全州郡（全北）在米糀一萬千百五十石玄米五百石新米出廻り期迄過不足なし
▲軍威郡（慶北）在米千二百石新米出廻り期迄過不足なし
▲報恩郡（忠北）在米三千四百石新米出廻り期迄剩餘三百石
▲洪原郡（咸南）在米五百石新米出廻り期迄不足百九十三石
▲定平郡（咸南）在米六百石新米出廻り期迄過不足なし
▲龍仁郡（京畿）在米千石新米出廻り期迄不足二千石
▲江華郡（京畿）在米七千五百石新米出廻り期迄不足一萬千百石

○土耳古葉栽培 川上東拓理事談

東洋拓殖會社京城支店こ北米スタンダード會社この間に朝鮮內の土耳古葉實栽培並に需給の契約をなし東拓は本年〆西鮮並に南鮮の一、ある事は既報を經しが右に付川上東拓理事は曰くス社この間に於ける土耳古葉實朝鮮耕作の契約は今春東京本社にて締結し予は支店にて來鮮の同社長こ數次會談したるが結締度の關係地味風土等は朝鮮の土耳古葉實栽培を適當こ認められ現に試作中の物は概して成績良好にして恐らく成功すべしこ信じ居れり東拓が土耳古葉の栽培を朝鮮に於いて矯消の面積に普及せしむるかは同社この間の需給契約の多少により決すべきが三四年內に少くも二千餘町歩に及ぼし得べき考へを有せり東拓こス社この需給關係は一定の[illegible]に於て縮し得る事こなれるに付き認可なりこ定まれば其の栽培面積の普及も迅速ならしむべく盡力すべし又ス社に引渡すまでには東拓にて葉煙の整理並に卷き込みも行ふ筈に付明年までに各地に葉煙の整理並に卷き込み製造の工場を建設する豫定こなり居れり尙は本計畫にして進捗せば朝鮮產業界に多少の貢獻をなし得べし

▲最高限度を定め其間伸縮

○出征米兵現狀

最近米國政府の發表する處によれば昨年五月より本年六月に至る一年間の歐洲出征軍兵數は左の如し

▲昨年五月一千七百十八人▲六月一萬二千二百六十一人▲七月一萬二千九百八十八人▲八月一萬八千六百二十三人▲九月三萬二千五百二十三人▲十月三萬八千二百五十九人▲十一月二萬三千十六人▲十二月四萬八千八百四十人▲本年一月四萬八千七百七十六人▲二月四萬八千百十七人▲三月八萬三千八百十一人▲四月十一萬七千二百十二人▲五月二十四萬四千三百四十五人▲六月二十七萬六千三百七十二人▲外に海兵一萬四千六百四十四人▲合計百一萬九千百十五人▲右の內後送兵死傷者八千百六十五人

如上の率を以て進む時は來春一月一日迄に四百萬人を歐洲戰場に送り得べく此の數は獨墺國現在の出征兵數に該當し又他の聯合國の兵こ略同數こなるべきを以て來春一月以後は敵に倍額の多數を有する事こなるべく勝敗の數明白なる者ありこ又[illegible]政府は去る七月四日の獨立記念大祭日に三千噸以上の運送船百隻を進水したりこ

○朝鮮こ簡易生命保險（一）

內地最近の契約者七十一萬人

▲遞信省內に郵便保險事業の調査會を設け之が經營に關する調査を行ひ次いで農商務省に於ても亦政府の小口保險に對する調查、小口保險こ普通保險及び勞働保險に對する關係等を攻究するため內務、大藏、司法、遞信、農商務の各省より委員を選出して小口保險調査委員會を設けたるが此の小口保險は日本に於ては官營こ民營こ何れを可こするかの問題に就て議論あり

內地に於ける簡易生命保險事業は一昨年開始以來成績頗る良好にして中流以下に對する政府の施設こして成功しつゝあるが朝鮮に於ても早晩その實施を見るべきは簡易保險に就て當局者も機運に向ひ此際遞信當局者の調査こ共に遞信省に於て

▲郵便保險 及び年金の調査を爲したるに淵源すること遠く明治三十三年郵便法、信託法及び郵便貯金法中に郵便保險及び年金に關する條項を規定し、法制局に提案せられたることもあるが當時保險及び年金は時期尙早の故を以て中止せられ爲に郵便保險の必要あることを說明して實施の必要あることを說明し

▲小口保險 官營の建議案次いで同年三月十七日同志會より提出せられし委員附託中に同年五月二十二日法制局長官を委員長こし內閣、內務、大藏、司法、文部、農商務、遞信の各省より委員を選出し又新に小口保險制度調査委員會を組織し爾來會議を重ねたること數十回又其の調査の結果を汎く民間に諮り以て其遺漏を補し事業の根本旨たるべき經營政策の方針に就き決定せしめたる法案調査全く終結し大正五年二月九日大隈內閣の政府案こして第卅七議會に提出せられ

◇米對過激派關係

華盛頓來電に據れば米國は露國過激派こ斷交せる由なるも其の筋にては何等情報無し勿論米國は過激派政府を承認せる譯にも非ざれど多少之に同情し非公式の交渉を繼續せる關係あれど今回過激派の浸潤こ共に與國軍事全部の撤退こなり自然其關係は消滅こ見て可なれば今更斷交宣言の必要無かる可く現に米國はアルハンゲルに於ても共同出兵を實行し居れば今後其對露政策は聯合國こ步調同一なるべし（東京特電）

◇對日江蘇米輸出

北京政府は江蘇省に對し日本に米の輸出を爲す可く命令せりこの說あり（北京電報）

◇馮氏和議意見書

馮總統は西南各省に對し個人こして和議の意見書を送る可しこ傳へらる（北京電報）

▲二百五十圓に修正

特別委員二十七名に附託審議のため同十七日本會議に於て原案通り可決、翌十八日貴族院に上議されたるに修正說成立し同月二十八日兩院協議會の結果保險金額を二百五十圓に修正せしのみにて其他は原案通可決大正五年七月八日法律第四十二號を以て發布翌八月十七日勅令第二百五號を以て保險法は十月一日より同特別會計法は八月二十日より施行すべき旨公布せられたり

○豪雨こ京畿稻作

今回の豪雨が京畿道管內の稻作に及ぼせる影響に就き當局者の語る處によれば浸水區域は京城、楊州、高陽、始興、金浦、水原等なるが一時浸水を爲したるも水の減退非常に早かりし爲土地浸潤等による被害は別こして目下の處左したる被害なき見込なりこ

○開城商業學校 設立認可

來年四月より開校すべき中等程度の公立商業學校々舍は開城有志によりて建築の土幣附することゝなりたることは既報せしが地均工事は客月より著手し近々竣工すべく豫て設計中なりし校舍の建築に著手すべく數日前二萬九千圓にて請負に附したるが年末頃には落成の豫定なりこ

鳥瞰 論壇

▲最近英國の諸新聞紙は西亞の形勢及び東方に於ける獨墺情熱を論述しつゝありこ左を揭げて居る▲其の二三を御紹介申さう先づ第一にデーリー、テレグラフは曰く▲獨逸は悲慘なる敗北の最大苦痛を嘗めつゝあり▲更に聯軍の前進に困り脅威せらるゝのみならず又彼等の占領に對する反抗運動が絕えず擴大しつゝある▲獨軍が其都よる西亞領土內は司令官が人民を抑壓せん爲凡ゆる手段を行使せざる地方は無い▲內外共に非常に於て普魯西主義は到る處で擯斥られつゝあるのである▲デーリー、クロニクルは曰く▲獨逸大使のダチコフ移轉は西伯利亞に於ける獨逸の非常な不人氣を表徵するものであ

る▲デーリー、ニユース曰く▲露西亞の時局進展の事實は過激派の心配であつて之に依つて露西亞は恢復の機會を與へられるのであらう▲レニン、トロッキーの心配は此問題解決の第一步であらう▲何こなれば丼は露西亞に於て獨逸に反抗して國家的主張の爲め戰はんこする軍隊の再興を意味するものであるからだ▲デーリー、メールは獨逸は未だ獲得の野心ある地方に對して攻勢を開始せんこせる企圖を有することを述べ▲次に東部の形勢は一にかかつて日本大軍隊の緊急出兵にありこ云つて居る

人事消息

▲西崎兆氏（久原鑛山技師）十八日夜入京

▲小松熊太郎氏（[illegible]）十八日入城

▲石井平七氏（京畿道內務部）同上

▲中田雪武三氏（京畿道金融部）同上

櫻岳 藤戸計太著

最新朝鮮地理

クロース金文字入 八百五十頁 定價金二圓 郵稅十二錢

著者は地理研究に熟誠にして半島の風俗習慣の調査をなせる朝鮮通にて曾て學生時代に支那富源を探るべく楊子江を溯し遠くは四川に至りし事あり亦珍らしき旅行家たり今回は滿鮮通にて學生時代に支那富源を印したるものありしが今回の地理研究の結晶を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして內容は第一沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通を記し第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戶口、著名山河等を記し第三編各地七百餘ケ所に於て沿革、位置、地勢、交通、商業、產物、戶口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所、舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄こしてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語、朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを論せず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案內者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集して各種學校、講習會の良參考書こなり遺漏なく通曉せしめ一面の事情を得て取捨宜きに適し爲者をして通覽一過直に經濟に運輸交通に便し並行政に商工業に金融に調查研究資料を供し事業計畫實行に當り最良の指針たり又旅行者をして安全なる進行をなさしめ毫も跋涉するの危險なからしめたり

一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調查資料を供し遊覽者の探勝歷史家の探充に便せしめ一本書は全編五百頁文を綴けば卷を閉ふ能はざるを覺ゆ加之ならず一本書は資材正確周到にして各地の事情に精通するを得べく立て全道諸般の事項に當り安然に活動するを得せしむることを注意せり

一本書は又序次懇切を極め讀者をして多趣ならしめ誠に空前の好著なりこす朝鮮事情に精通せしとする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんことを望む

發行所 京城太平通一丁目 振替京城二〇〇番 京城日報代理部

取次所 大阪屋號 日韓書房

簿記通信教授

▲銀行會社商店員養成 ▲男女生徒募集 ▲卒業後就職口周旋

◎術宿通學部 ◎自宅獨習部

◎全科四ヶ月卒業 ◎大阪天神橋筋西一丁目六一九 簿記會計學校

內科 眼科 小兒科

京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）

本田醫院

院長 本田逃[illegible]

附屬 京城肛門病痔疾療院

入院隨意 痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券三錢

電話二四四三番 振替京城[illegible]

眼鏡專門

△弊堂特色（詳細定價表發行す）

レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强

京城南大門通一丁目二三番地

宮川大學堂

電話二九五九番 振替京城壹壹貳九番

（眼鏡製造工場子弟入用）

南鮮支部を當支部に併合復舊す

東京國債株式會社京城支部

京城明治町一丁目 振替京城三五二七番

營養ヲ增進シ 精力ヲ旺盛ニス

グリコナール錠

本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇％ノグリコゲーントタ蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス

百錠 金壹圓 各藥舖ニ有リ 說明書進呈ス

適應症 一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ營養ヲ增進シ精力ヲ增加ス

東京室町 三共株式會社

內科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目

石川醫院

電話一三七九番

優等清酒

廣島縣西條町 釀造元 木村靜彥

京城府鍾路（中央市場） 發賣元 河野酒店

電話二一二〇八番

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎

京城本町壹丁目

株式會社 百三十銀行京城支店

電話五八番 振替貯金京城一九四番 一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

內科 小兒科

京城永樂町一丁目（商品陳列館前）

村上病院

院長 醫學士 村上龍藏

副院長 醫業士 瀨々鋒郎

電話六一三番

○防水中火災

[illegible]增水する爲め押て逆流する程になりしが漲水は下流の漢江が刻々に[illegible]出し橋上に載せて流失を防ぎ辛くも喰ひ止めしが一時は橋上の濁流激騷ぎ出來したるが發火場所は漢江通り十三番地所在京城府所管衞生[illegible]貨行部の材料置場にて幾て貯藏し[illegible]て午前四時頃消し止めしが損害約一千圓位なりこ而して水道水は斷[illegible]水中にて附近の浴水を使用するなく減水に向ひたりき[illegible]警察は浸水家屋の給水に從事し[illegible]供出を要するもの無く堤防に故障

東京大阪 間の飛行郵便

[illegible]る庭球競技にて熊谷及びデイラーの兩選手を破りたり（桑港電報）

○尾崎氏通過

セミヨノフ軍に參加する尾崎行雄氏は瀨尾榮太郎氏こ共に十八日[illegible]

課題及び募集規定

[illegible]文は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲用紙は[illegible]

米の代用食物

推奬し度い安價生活法

糅飯を食へ……◇ 比較的安價で健康にも好い 其代り副食物を少し多量に

石塚右玄氏談

米價騰貴の折柄食糧所長石塚右玄氏を訪うて應急の對策を叩くと左の如し（東京支局）

米價騰貴の折から米の代用食物をといふ事に就ては非常に難しい問題ではないかと思ふ。元來人間が生活して行く上に於て大切な事は身體の健康を保つ事である。健全なる精神は健全なる身體に宿るといふのは昔からの諺であつて身體が虚弱では何事を成すにも不便といふより寧ろ難い事である。して見ると此健康を保つ上に於て米程よい食物はあるまい。

▽米を七分に菜
▽を三分といふ

割合で食事をしてゐるのが一番よい。米も玄米が最もよいのである。玄米には澱分、蛋白、脂肪、活力素を充分に含んでゐる爲めに副食物としては味噌汁と澤庵で十二分である。それ位迄に身體に適合した米に代ふべき物をといふのだから甚だ難しい問題であるといふのである。胡麻と黒豆と餅米とを同等の割合で食してゐれば副食物は無くとも米以上の効りはあるが是では高價で時節柄出來難い事である。目下の所安價な物で米の代用食物をといふのだから愈々

◇……難問題 だ。昔から随分年の食物としてある丈類は確かに米の代用にはなるが是れとても安價には得られない今の時節だから糅飯より外に安價生活法はあるまいと思ふ。今迄各學者の安價生活法に就て種々の説はあるが皆餘り感服しない。然らば糅飯とは如何な物かといふに、少量の米に粟か稗かを混交て粥として食すのである。米價騰貴と共に他の穀物も騰貴してゐるので安價ではないが是れなれば

▽比較的安價で
▽生活が出來る

のである。決して健康を害する事は少しもない筈である、尤も今迄の習慣上或ひは嫌いかも知れないが、朝鮮では昔は皆糅飯を食してゐたものである。現今でも、まだ此糅飯を食してゐる者は決して少くはあるまい。馴れば出來ないので是も習慣となれば何でもない事であるし又、今暫くすれば新米も出るし、新米が出れば米價は安くなるだらう、兎に角暫くの凌ぎと思つてやるより外はあるまい。米を少量に食する以上

◇……副食物 を少し多量にとる必要はある、此副食物には海草か野菜汎が一番よいのである。けれ共野菜物には割合に脂肪が少い、そこで其野菜物の皮を成るたけとらずに植物性の油を交ぜて調理するのである。所謂油揚、ガンモドキなどは最も適してゐるのである。消化をよくする爲に多少醤油をからめに入る必要はあるだらう。こんな物を食して、行けば身體の健康を保つて安價で生活は出來るのである。しかし

▽糅飯を常食と
▽してゐる鮮人

に對して、より以上の安價な生活法といへば、吾等には答へる所を知らないのである、昔は雜草を食して生活した者は少くなかつたのであるが、雜草には活力素が少いのである、從つて漸次身體の衰弱を見るといふ事は明かである。それも時折にでも穀物を食して居れば三箇月や四箇月位は變りなく生活して行けるだらうと思ふ。

◎内地人が殖た 仁川の廉賣

醵金二萬圓を超過す!!!

仁川救濟會廉賣開始以來既に四日毎日時間内に取扱へる購買者の數は各所共數百名を以て算へ日毎に販賣石數を増加し事業趣旨の一般に徹底すると共に漸次内地人家庭に於ても此の恩惠に浴せんとする者多きを加へ來れり開始以來の販賣石數は十七日迄鮮米九十六石三斗一升外米八十二石五升麥八斗八升を算し第四日目十七日の賣揚數量は仲町鮮米六石一斗八升宮町二十石八斗八升龍里外米二十八石九斗一升を販賣せり

▲醵金額 救濟會の計畫發表以來其の事業を賛し率つて義捐醵出せる者既に數十名に達せるが之が總額二萬八百圓の巨額に上り尚ほ地方有力者の之に對して援助を與へ應分の醵金を爲さんとする者續々として現はれ既報十七日午前締切以降に於て受け付けたるは金一百圓高田常三郎同一百圓小倉卿助の二氏なり

◇初日の米廉賣を了へて……鈴谷府尹曰く『今日は好成績でした……』
＝右より＝原川警部、今村内米商組合長、服部事務官、鈴木事務官、大村督記長、須藤警部（十八日午後五時京城府廳にて）

◎五百石殆ど賣切れ

◇……廉賣第一日の成績……◇ 豫想外の好況に役員も滿足

京城救濟會にては既記の如く十八日午前九時半より米の廉賣第一日を開始せるが其の景況は豫想外の好況を呈し其の廉賣人員の如きは一千餘人に達せし所少しとせず五百石の米は略賣り盡し理事者側に於ても滿足を表し居れり

▽五升券廢止 配米の均衡を保つ爲め

廉賣第一日の經驗によれば五升券の賣行甚だしく其の結果廉賣の目的たる成るべく多數の希望者に分たむとの主旨に反するの結果に陷り一般人に

▲普遍的に 廉米するを得ざる結果を齎すが如き傾向あるは誠に遺憾とする所にして殊に目下天候の關係上廉賣に供せんとする米の調製に困難を感じ居る際なれば十九日の販賣には止むを得ず五升券の發賣を廢止せり尚今後の情勢如何によりては再び五升券を發賣するに至るべきやも計られず其の邦文理事者側に於て熟議決定すべき豫定なり而して廉賣第一日は始め一升券と二升分の賣行相當ありしが漸次五升券の

▲賣行激増 せるものにして之れ需要者側に於て時價より一升に就き十錢安を唱へし事とて多くの廉賣米は市中の白米より劣等なるものの如く考へしものも購入の上檢すれば一等上米に毛の染色なき品なるを知り直ちに踵を返して大量の五升券を購求するものの增加したるに基因せるが如し

▽不徳漢 一家繰出で米買に 嚴重に取締る

右に記述せる如く五升券の賣行の増大するのみならず中には斯かる廉賣米を獨占せんとするものあり例へば一家三人四人の家族打連れて各々容器を携へ各自五升の廉賣券を購求し而して各自別々に廉賣白米を受け取り一度歸路に就かんとするや一家中各自の手にせる白米を一纏めとなし再び購求すると云ふが如き不埒ものあり之等は全く公德心なきものにして唯私利にのみ走らんとする不徳漢と云ふべし斯る輩に對しては係員に於ても充分取締を爲すと同時に警察に依頼し監視中の警官をして相當の處置を採らしむる事とせり購買者は注意ある可き

▽十九日…… 廉賣豫定高

十九日開始すべき廉賣米は前述の如く米の調製困難の爲め五升券發賣中止の原因等に關聯して第一日よりも幾分予高を減少約三百石なる可しと

◎鎭海に救濟會 鎭海にては十七日米價騰貴に依る救濟會を設置せり（馬山特電）

☆李花の譽れ☆（三）

李王世子殿下御精勵の事共

李王世子殿下、醋熱石を焼かす時、刻苦精勵事務にいそしみ給ふ。則ち側近の士に就いて寤さに御近狀を承はる（東京支局）

陸軍士官學校教官黒川越太郎氏談（上）

李王世子殿下は學習院より陸軍中央幼年學校へ御入學遊ばされたのであるが豫科の一年は飛越されて直に二年に入學されたのである不肖は其時以來御勉強の御相手をして今日に及んでゐるのである步兵少尉趙大鎬氏とは非常なる親友で共に英語を研究された、其當時より內地語は實に堪能で在らせられ英語の方もよく御出來遊ばしてゐたのである豫科時代は毎週七時間を語學に親まれたのであるが本科に入られてからは英國人ハリス氏と二人にて御教導申上げてゐた、

▽英語で御演説 ☆奈翁のアルプス越に

愈々御卒業の折に空前絶後並居る一同を感嘆せしめられた事がある それは中央幼年學校では、優等卒業生をして、各專修の外國語で口演をなさしめるのである、其時殿下にも英語で御口演遊ばした、それは『ナポレオンのアルプス越に』といふ題目の下に次の樣に演ぜられたのである。

『今を距ること約百年前ナポレオンボナパルトは、佛蘭西軍の司令官として伊太利へ侵入せんとせしがアルプスの大山脈巍峨にして國境に横たはり、加ふるに積雪皚々たるを以て大軍の通過至難を覺ゆ しかば、人を遣はして調査せしめしに、歸り報ずるもの皆不安の色ありしが、やがて一人のもの『至難然不可能にあらざるべし然れ共……』と言ひ出しければナポレオン之を遮りて『又他を言ふこと勿れいざ進まん伊太利へ』と即ち百般の準備を整へ世の疑惧と嘲笑とを顧みず六萬の大軍を率ゐてアルプスの巍に向ひ峻削蜿蜒二十里に亘り風雪を冒し險峻を踰ゆ困苦具さに嘗めたり ナポレオン能く兵を勵まし、各兵亦大いに努め四日にして全軍遂に伊太利の野に進軍するに至れり 茲に於てナポレオンは『苟くも勝利を得んと欲するものは、決して不可能の語を言ふべからず』と言ひきと』

其御態度悠々其の御口演振には皆只感に打たれてゐたが、再びそれを內地語にて譯させられた。其御風姿御成績遂に群を抜き他の優等生も嘆然として言葉さへない有樣であつた。

◎將來の飛行舞臺は

亞細亞大陸に移るだらう

その地勢及び氣流を研究して置くのは飛行家たる者の義務 と尾崎輝氏は語つた

セミヨノフ軍に投ずべく飛行家尾崎輝氏は十七日九時四十分發列車にて北支に向へるが氏は出發に際して語つて曰く瀬尾氏の東道で西伯利亞地方に行く事になつた、外國飛行家としてセミヨノフ隊の飛行家として活動するなどいふ事は當らず萬事瀬尾氏一任なるを以て予の行く先任務時期など一切承知せず先づ避暑がてら

▲大陸の氣分 に接するなり予は十二指腸を病み永らく大學病院にあり全治退院後更に茅ヶ崎に棲まされ今尚疲勞甚だしき懸念せるが併し予は亞細亞大陸を跋ゆる長途の旅行如何さ又も機の關係を知るべく昨年支那に赴きしが今回は其の研究の範圍を西伯利亞に延長し瀬尾氏より交渉ありしを幸ひ郷里を離し來れるが思ふに我國にありては地勢の干係上

▲飛行の舞臺 は亞細亞大陸に移さるるが順當にして予は早晩我航空隊の舞臺がわが大陸に移動すべきを信じて疑はざるなり予は民間飛行家なるを以て軍事に立入り我航空隊のことに關し云ふを憚るもこの際飛行家として大陸の氣候及び地勢等研究する義務ある者なり之等が予をして病後の體を顧みずシベリヤ行を敢行せしめたるものにて從軍と云ふ事は意味に於いては從軍以上の任務をなすやも知れず予は該地着後直ちに

▲機體の組立 をなしセミヨノフ軍の飛行家に提供する筈にて同軍には名ある飛行家もあり其の活動は期して待つべく齎持ち行く機體は予の製作せるものにて鳥津氏發動機を用ひたる復葉トラクター八十馬力なり

◎石油の採れる 珍鑛石 オイルセール

朝鮮滿洲を視察したる東京帝大教授理學博士神保小虎氏は語る今度調査せし鑛物中殊に珍らしきものとしてはマグネサイトと稱する耐火煉瓦の材料となるもの（耐火度の最も高きもの）滑石（タルクムと稱す）オイルセール等で其他種々の標本を携帯し來れりマグネサイトは大石橋と海城との間に於て

◇耐火粘土 は撫順炭坑より産出し滑石は海城附近を主としオイルセールは撫順炭坑より産出し何れも多額の産出あるが就中滑石の用途は製紙上光澤を出すに用ひらる、外製絲化粧品護謨具根瓦皮革の製造用の外に裁縫用のチャコ或は紡績機の摩擦を防ぐべく用ひられ又緻密なるものに至りては之を削りて石筆の製造原料となす外種々の用途あり亦オイルセールは一種の頁岩にして之を熱すれば石油を採り得るものにて普通の石油と何等異なりたる事なきものなるが目下試驗研究中にて

◇試驗中に 屬するを以て未だ工業を興す迄には至らず其の外全州城に於て大阪アスベスト會社の經營せる石綿の産出狀態に珍らしきものあれども産額多からず從て特に語るべき程のものなし

□救濟會寄附

金百圓	吉野商會
金二百圓	梶原末太郎
金五百圓	中村再造
金四百圓	森勝次
金百圓	關繁太郎
金參拾圓	遠田久三郎
金百圓	新田耕市
金百圓	（大和町）仙波潤一郎

右二口本社扱
合計一千五百三十圓
累計金一萬二千九百二十五圓也

◎全州の米廉賣 兩農場の仁俠

岩崎家經營の東山農場並に白南信氏農場は全州にて白米一千石を廉賣するに決せり（全州特電）

◎吉田博士講演 十九日午後四時より南山町京城高等女學校講堂に於て朝鮮教育研究會主催となり吉田博士の『國性と國民性』と題する通俗講演を開催すべき筈なるが一般多數來聽を希望すと

◇各地の白米 十八日各地の白米値段（電報）

▲群山 一等白米一升三十六錢十七日と同値比米三十二圓十六日に比し一圓安なるも取引なし
▲釜山 白米小賣値段十七日同値
▲大邱 一特等白米一升三十八錢市場は米價陰保ち合にて十七日と同樣
▲安東 一等白米一升三十七錢二等三十六錢五厘に賤落せり目下の見込なり
▲晉州 一等三十四錢先週を見越し地方よりの出米多し
▲大連 一時恐慌を傳へられたる小賣値段は一等米四十五錢上を途みず

最新刊

書名	著者	定價
國歌大觀	松下大三郎 渡邊文雄 共	一・五〇
建築構造學	內藤多仲	一・八〇
佛教の解説	常盤大定	一・〇〇
帝國の危機大戰する	野中春日	一・六〇
わがくさ少女文集	研究社	一・六〇
▲朝鮮語の先生	京城府作者朝教論著	定價壹圓貳拾
ゲーリー式の學校	田中光吉	七五
新らしき村の生活	武者小路	八五
米國大學と日本學生	加藤	六五
高杉晋作	碧瑠	一・四〇
韓信世家	柏城	一・二〇
東海道中膝栗毛	三田村高鳶	一・二〇
▲大正七年 遞信地圖	遞信局編	五拾錢
中學新書	今村勝一	八五
新翰文規範及文例	坪內孝	八五
自由主義の革新	高島平三郎	七〇

京城本町 大阪屋號 電話六八番 振替京城二五七番

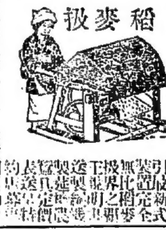
ねびえを御用心あれ

小兒・解熱新藥 コドモのねびゑには オイン に限る 十錢・二十錢・三十錢

大人のねびえ又はかぜねつには 蛇印アンチピリン丸 スグ服用あれ確効あり 賣價十錢二十五錢 全國各藥店に有り 本舖 東京猿屋町 大阪心齋橋 丹平商會藥房

蒸暑い此頃は朝夕の

稲麥扱



東京本所長崎町三丁目 本發明

國產 牛久赤白葡萄酒

貴紳間に愛賞せらる 純正生葡萄酒

品質精良 滋味卓越

光榮 伏見宮 華頂宮 久邇宮 梨本宮 を初め奉り各高貴の御家庭より平素の御料として御買上の榮を蒙る

本品は茨城縣牛久神谷葡萄園に移植せる佛國種優良生葡萄の實より搾取せるまゝの生葡萄酒にして品質最も優秀なるのみならず舶來品の如く高價なる運賃關稅の諸費なき爲め品質に比し價格最も低廉なり。

賣捌元 東京本町 近藤利兵衞

木管販賣開始

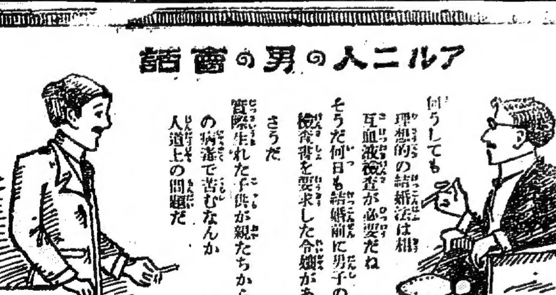
用途

上下水道用 水力電氣用 開墾埋立用 鑿井用 釀造用
瓦斯用 製糸精練用 灌漑排水用 錢道及船舶給水用 溫泉用
水槽用 鑛山炭坑用 化學工業用 地下線用 其他各種水利用

鐵管暴騰の際如上の用途に木管を使用するは最善の策而も本品は特許品にて効力鐵管を凌ぐ切に御試用を推奬致し候

東洋水道木管株式會社特許製作
水道木管發賣店
京城本町二丁目 合名會社 鈴木商店京城支店 電話二九〇番・二九一四番
京城古市町 熊野商會 電話長一八二番

アルニ人の男の會話



何うしても理想的の結婚法は相互血液檢査が必要だね
そうだ何日も結婚前に男子の血液檢査書を要求した令孃があつた
さうだ
實際生れた子供が親たちから遺傳の病毒で苦むなんか人道上の問題だ

治疾丸 百毒下し

ばいそしー良 うつ切 毒けの藥

藥價 拾錢 拾五錢 參拾錢 五拾錢 壹圓 壹圓五拾錢

本舖 伊勢四日市 赤堀 加藤翠松堂 振替大阪一七九番 東京三〇四五番

各地有名藥店にあり

妻の心 七十

十一の二　小林蹴月作　武内桂舟畫

若龍の母は、お瀧と云つて、是れも生粹の江戸ッ兒であつた。一寸見ると、人のわるさうな鼻柱の強い、喰へぬらしい面構へは爲て居るが、交際つて見ると、案外物の分かつた親切氣の勝つた女である。總領の欣一と二人で、下谷の稻荷横町に、年久しく長屋住居の生活を營んで居るのであるが、此の欣一なる男は、お瀧の女手一つで甘やかし放題甘やかして育て上げた結果でもあらうが、お話の外の道樂漢で、二十歳前後の頃から飲々腹親を泣かせぬいた揚句が、よく〳〵人間の屑の寄り集まりと云はる、芝居者に成り下つて、今では神田劇場邊の女優一座の男衆を勤めて居るのである。但し、男

前は、俳優に爲ても見まほしい程のすつきりとした藝人肌で、云ふ事爲る事共に却々如才のない方である。

『いやア、滅法に小粹な誂裾裏が脫いであると思つたら、駒子姫の御入來とは、珍らしいね。』と、欣一は、紺足袋の砂埃りを拂ひながら内へ上つて、妹の顏を見掛くるが早いか、のつけから此の調子である。

『あら阿兄さん、人の顏を見るより早く戯談ぢやなくてよ。妾、阿母さんと兩人で大變待ちかねて居たんだわ。』

『は、は、は、そりやお氣の毒さま。實はね、今日は少し座の方で、小癪な事があつたから、好い加減に見を付けて歸つて來たのよ。そして、駒さん、僕を待ちかねて居るとは、何事が起つたのかね?』

『阿兄さん、大有りなのよ。愈々妾、商賣を止める事になつたわ。』

『なに、藝妓を止める事になつたつて?其奴は豪勢だね。尤も、成金がうよ〳〵して居る世の中だから、それ位の事はあつても然るべしだが、構ふ事はねえから、呟と高く吹つかけて、僕や阿母さんの方へも少しお福分を頒ひたいもんだ。』

『そんな慾の深い事ばかし云ふもんぢやなくてよ人の話も碌々聞かない内から………。』と、若龍は、自分の前にあつたサイダーの洋盃を兄の方へ突きやり、

『まあ、氷でも飲つて精神を鎮めてから、眞面目に相談に乘つて頂戴よ。』

『眞面目も不眞面目もありや爲ないさ。お前が藝妓を止めると云ふからには、無論何處かの成金の奥樣になるか、權守に出世するか、此の二つの中に違ひなからうと思ふから、前祝ひに一杯奢つて、然る後の事だね。元來その對手方は何處の何方樣でお在遊ばすんだね。』

『什樣があり爲ないね、阿兄さんと來た日には。こもすると、お酒の事ばかり云ひ出すんですもの。實はね、阿兄さん、妾を落籍して下さる對手方と云ふのは、駿河臺の町川さんつて云ふ代議士なのよ。』

『わつ、駒さん、一寸待つて呉れ玉へよ。駿河臺の町川さんと云ふ代議士……がお前を……。』

欣一は、何が故かは知らず、町川代議士と云ふ一言を聞くと同時に、左も悖乎としたらしい容子で俳優のやうに細く剃り付けた眉根を一大事さうに顰た。若龍は、敏くもそれに氣付いて。

『阿兄さん、貴郎は若しやしたら、町川さんを知つてや爲ないの?』

『…………。』

欣一は、何にも答へずに、サイダーの洋盃を口端へ持つて行きかけた儘、訝しさうに小首を捻つて居る。

『可笑いわね、阿兄さんは。妾が町川さんの許へ行くと云つたら、遽にそんな變手古な顏して、口も利かずに居ると云ふのは……。』と、若龍は、頓と判斷に苦しんで了つた。お瀧は、見かねたやうに顏を差出し、

『欣一、什うしたと云ふんだね。お前は。お前、その町川さんと云ふ旦那と御懇意でゞもあるなら、尚更結構な御緣づくと云ふもんだから、さつく、ばらんに話を爲るが好いぢやないか。妹の出世は即ちお前や妾の出世にもなるんだからね。』

『本統だわ、阿兄さん、正直な話を爲て下さらないと、妾父後で困つてよ。』

母と妹とは、口を揃へて問ひ詰めるのであつたが、欣一は、平生の如才ない剽輕の調子に似合はず、俺まで迷惑さうに口をゆがめたなりである。

良妻賢母

時代に適應せよ

女子教育は何處迄もこの主義で

此九月に女子教育の改良案が議せられるそうですが何時も女子教育と云ふと必ず良妻賢母を呼び起して女子教育を論じるのが一般です。これは餘り辭句に拘泥されて居るのではないでせうか、今日の女子教育は良妻賢母のみでは時勢に後れて居ると云ふ人も多くあります、又女子自らも少し新しがつて居る人は良妻賢母は如何にも

★古めか しいものとなし他に職業をとり、又妻となつて子を産むのを忌むといふやうな傾向もあります若しかう云ふ夫人のみになれば國家はどうして維持されませうか、私は是れから考へてどうしても女子教育の最後は良妻賢母に歸著すると思ひます、これは古くから女子の教育についてある言葉であり

★教訓で あつて夫れがその儘に現在も適つて居ないので或は古いもの、やうに思はれるかも知れませんが辭句はそのまゝの良妻賢母でも昔の良妻であつた賢母であつた人と今日の良妻賢母と云ふ婦人とは全く違はねばなりません、つまり今日は社會が總て進化して居るのですから夫に應じた良妻賢母でなければならぬのです夫故良妻賢母はいつ如何に社會が進んだ場合でも決して不必要とか古いものとは云はれないのです只その時代々々に應じた意氣で何處迄も良妻賢母は必要ですそれから女子が良妻賢母であると同時に

★男子も 良夫賢父でなければ眞に子供を教育することは出來ぬ筈ですで良夫賢父を呼ぶのが餘りありませんが若し良妻賢母良夫賢父も無いなれば一體子供は誰が教育するのでせうか婦人は子供があると實に忙しいものですそして多く子供のために自らの樂みも望みも献けて居りますが斯う云ふ婦人に比べて子供のない人の生活はそれは暇があつて暢氣ですから身體を自由に外出も出來物見遊山も思ひのまゝです斯うなると子供のある者は實につまらないものです、子供のために賢母たらんとして働いて居りながら一方ではそれが時世後れだ等といはれては實につまりません、固より親は子供を育てるのは務めには違ひありませんがさて親が

★辛苦し て子供を獨立させた後子供は割合に親に盡くすものではありません、それ故私はこれから子供のある婦人には其苦勞に對して政府が子供の發育費を補助する位になつてほしいと思ひます、實際此の位にならなくては子供の澤山な婦人は或る意味の犧牲者なのですから全く氣の毒なものです、勿論子供を立派にして社會に出すことはこれ以上貴い務めはないのですから此意味からも政府が何か考へを持つやうに進んだらと思ひます(東京[illegible]女史談)

此の生活の苦戰を首尾好く脫し得るか否かは主婦の力試めしの時期として又一方面白いものでありますが徒らに悲觀するよりも寧ろ勇氣を鼓つて其時と場合に處する途を考へて置くことを望むものであります(某教育家談)

秋の準備

◎炭や野菜の高い時が來る

米價の狂騰は幸ひに鮮になつたやうで何うやら是で落付いたとしても借て少し秋氣立ちそめたら他の物價が一齊に高くなるのは知れ切つて居ります、昨今の炭の相場にしても左樣です例年夏は炭の一番廉い時でありますが今年は其炭が此酷暑に際しても毫も安くならない許りでなく、既に立秋の聲を聞くと同時に一齊に引上げたのでも知れます、又野菜にしても左樣であります、今は蔬菜類が出盛りで瓜や茄子が澤山にありまして眞夏で

◎貯藏 が出來ない爲め安く貰つて居りますが一度九月に入り漸次貯藏に掛へるやうになつたら蔬菜類も又一齊に高値を唱へて來ることは申す迄もなからうと思ひます、否今年の春のやうな野菜との炭の饑饉は今年は十月頃から始まるに相違ないと見て居る方が眞實でありますそれで一家の處理に當る主婦は此點に對して今から十分

◎準備 を整へて置かなければなりません烈しい生活の戰爭が總て主婦の前に展開されるのかと思へば誰しも慄然たらざるを得ぬのでありますが又一方から云へば

白鈴詩社第七回詠草

赤りんごまつかなりんごいつだれが己に與れしかこの赤りんご　きよし

まつかなるほゝづきに若物きせるさて姉は縫ふなり人形の衣物を　白星光

日もはるの砂原遠くそのはてに海はまばらはらと波ながぶりし暉はも雛きやまゝあるぞらの下に　しな

題 檣が出る　入尾頭 三吉梅

硯捲く癖、士は勇む
ちまたに押ふ動員令
祖父は勇んで細君は泣き
孫が言ふ雪の門
我より先に火の見
若主の前にひざまづき
日頃にも似ぬ信心の前
何より嬉しき盃酒
濟んで飛脚が驅けて行く
先手争ふ消防夫
自分の家から火事を出し
腰を抜かして逃つて居る
南瓜ころりと横平に
コラがアナタと世が替り
職は浮き出し人は泥
美術を高く案内させ
初めて行つた作所敷
おりそ貼り出す安下宿
猾り切れ下駄が亂雜に
蹴が丈つてぶら下り
落ちりや十萬億土なり
遠い淨土の一人旅
流れさ酌みつ野を歌ひ
大つ乙女に踊らせる
御鳴様は太鼓持ち
勝勇ましく角力ぶれ
番付面に稀なつけ
妙法蓮華經と恩な鐃き
州の木蔭の涼しさに
知らす寢込んで風な引き
あゝ嬉しやとたまご酒
ごちらが勝の親分か
五枚ハツピで角字入り
堅い暖簾の裏表
あぺこべに着て指さゝれ
引き受けて立つ闘果兒
筑波山下の眺めかな

新刊紹介(到着順)

▲佛典の解説(常盤、定著)大藏經中より日本の文明に關係を有する經典を取り之に特殊のものを交へ經典成立の時と所を調査して詳細に解説をなしたるものなり洋裝二百三十六頁(一圓東京小石川區西町六丙午出版社)

▲朝鮮農業時報(創刊號)山縣政務總監題字、新渡戶博士の論説、七月中生絲相場表を巻頭に掲げ小原農務課長、本田博士、吉木農務課長、宮原試驗所長、玉山工專教授、內藤博士其他の論叢を掲げ其他當業者の見たる朝鮮蠶業及び改良法(三日東亞蠶業社)

▲飛行少年(九月號)表紙軍營の秋月口繪黄海の海戰谷流馬當の群に成り讀物冒險小説は青白動車、其他孤島の怪人を初め寸鐵されぬ名譽の軍旗、生首奇談、怪しき古家、松葉ヶ谷の霸の讀み物多し(十五錢、東京々橋本八丁堀二ノ一日本飛行研究會)

▲少女(九月號)初秋の風、はつ栞、はげいとう、秋のしらべ等の口繪、少女休暇綴斷、青田の風、お園子の行方、一粒の種、七宿の星、狂化出者、高嶺の花其他讀物利用の展覽、一本の針、袋のす法、對出方、秋のお菓子、暑い時の料理等面白くて有益なる讀物多し(二十錢、東京々橋南鍋町二の一二時事新報社)

▲少年(九月號)繪畫に記事に洗煉せられたるもの多く少年雜誌界の花形と云ふべし(二十錢、東京々橋南鍋島町二の一二時事新報社)

▲學術講演集(八月號)二十五錢、東京神田表猿樂町四宿文堂

▲土木建築工學(五の八)二十五錢　東京日本橋本石町一の一工學社

▲臺灣教育(一九四)二十錢　臺灣總督府民政部學務內臺灣教育會發行

◎獨逸の代用品

獨逸にては物資缺乏を補ふため代用品製造に苦心し大體のものは實際殆ど同じけれども[illegible]

▲獨逸茶　苺の葉假木の葉其の他種々なるものを合して製し其の味殆ど同じけれども[illegible]

▲胡椒　外觀上殆ど眞物と同一にて色香味共殆ど區別し得ざる程似し居れり

▲紙製品　にては帶革一部分又は全部紙製[illegible]

[illegible]貿易は甚だ良好なるも唯一の缺點は濃厚なるクリーム性石鹸泡を生ぜざることなるが一般に洗濯用として[illegible]

[illegible]の或方面の如きは最早採掘し盡し今日以上に坑道を掘進し深掘を爲すに於ては多大の經費を要するは[illegible]至るであらう斯る時に大阪東京方面[illegible]して輸入を仰ぎ供給を[illegible]至らば我國は石炭輸出國より一轉して[illegible]であるから此の際成可く原價の安い石炭を日本に輸入するは我工業家にとつて最も有利であると思ふ云[illegible]

薄化粧の仕方

一番高尚で美しい艶の出る

クラブ水白粉

先づ第一に日本名物のクラブ洗粉でお顏や襟をお洗ひになつた後皮膚を緊締にするクラブ化粧水か、又は肌理の極細かい方ならば皮膚の美を養ふクラブ美身ゼリーを塗り、其の上へ

を刷毛か指先でつけ、濡タオルで押へてお置きになりますれば、高尚で美しい薄化粧が忽ちの間に出來上ります。夏分は此の清新なクラブ式薄化粧が殊に喜ばれます。

〔クラブ水白粉愛用〕

京日案内

▲申込中途廢止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御原稿は返却致さず及び回答を要せず

◎店員一名入用　本人來店あれ　京城府旭町　川西食料店

◎代診藥局生各貳名入用　希望者は至急支局宛申込み可し　姓名京城日報川支局

電話讓物有　御希望の御方は電話二一〇三番へ

●店員至急入用但得意廻り　永登浦(電話一五番)　村田雜貨店

番外

●社員募集　身元確實なる者三名採用　志願者午前來社又は履歷書送れ　京城本町四丁目百三十三番地　人事興信社(長電話三七三番)

●女子原簿係採用す　身元確實で教育ある者自筆履歷書至急送附又は來談せらるべし　平壤府南門町　丁字屋洋服店

●職工數名募集　但し特種の優待法有本人至急乞來談　平壤府南門町　丁字屋洋服店

年金恩給　低利長期間融通す　四年半迄保險不要(京城永樂町一表門前下角　商品陳列館前下角)　江州屋本店

●ほねつぎ　うちみくじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

魔法瓶及魔法瓶中瓶取替　京城本町二丁目電話二三四番　高木旅行用具店

●中古ミシン買入　用の方は電話又端書御一報參上　京城鐘路バゴダ公園近三八　楠商店

新荷著　懷中時計

ニッケル側十八形(▲印はラジューム入)
[illegible]

右は今回新着の商品にして品質優良なるを以て御求めの程を

時計蓄音器ミシン自轉車洋酒各國直輸入商

イングレッシー商會
本店京城本町二丁目　電九七二

京城本町　時計販賣　仁川　金銀製作　(京城)

百圓呈進

りん病　ばい毒

帝國醫科大學病院

分析料百圓進呈

にせ物　大阪有田

にせ物と好商

大阪有田

南大門外　ドラッグ商會
鍾路三丁目　ドラッグ商會

大阪三休橋　ドラッグ商會
京城南大門外停車場通

京城龍山等各地に偽物有御注意

除菌水コシ

宮內省御買上の榮を蒙りし濾器
▲內務省衛生試驗所外五博士證明
▲發明品展覽會有功賞井銅牌受領
▲專賣特許完全除菌衛生石コシ式
此濾過器は危險なる濁水を清水として恐るべき黴菌を除き良水を供し百病の根源を斷つ必須の利器にて効力耐久力共に大隈侯東京市長坂垣伯夫人顧問來品を淺探す
▽會員名附總代御中越次第說明書進呈

東京市京橋區南金六町十五番地
發賣元　田中機器商會
電話長新橋三三五五番
振替口座四五〇〇番

簡易職業

無經驗者日收一圓半位詳細郵七錢要
器具貸與遠近男女共自宅で出來る優美な仕事
本所向院正門前　二葉總店

釜山出帆廣告

◎第三琴平丸　元山、西湖、新浦、城津、清津行　七月　日後四時出
◎第三琴平丸　門司、宇品、神戶、大阪行　七月　日後四時出
◎眞佐丸　天須各港經由下関行　七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

共同汽船出帆

一共同丸　大連直行　八月十七日後四時　仁川入港後出港
一號共同丸　阿波共同埠頭　八月十八日　仁川代理店
元山代理店　南大門　電二七六〇　河村運送店

大阪商船出帆

神戶、大阪行(仁川出帆)八月廿六日後五時出
×臺東丸　八月廿一日後五時出
清津行(元山出帆)　安平丸　八月二十日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
安平丸　八月廿六日後九時出
上海、芝罘、大連行(大連出帆)
湖北丸　八月十四日　後四時出

日本郵船出帆

◎大連、天津行
相模丸　九月
酒田丸　八月廿八日正午
高砂丸　仁川海岸町十丁目
京城支店　電話七〇八番

尼崎汽船出帆

下關、大阪行
大和丸　八月十八日後四時
群山、木浦、下ノ關、大阪行
群山丸　八月廿二日後四時
秀吉丸
高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

平壤丸　八月十八日　元山發
慈恩丸　八月十五日　清津發

◎浦汐行(大阪發)釜山元山城津經由
越後丸　八月廿一日　元山發
◎雄基行　成鏡丸　九月二日　元山發
◎大阪行　越後丸　八月廿三日　釜山發
◎元山雄基線　穩城丸　八月十四日　元山發
◎釜山浦項線　勝江丸
◎濟州島行　西廻　公州丸　八月十九日　木浦發
◎金剛山遊覽便
◎木浦行　慶興丸　八月二十日　木浦發
◎多島海行　木浦麗水線
◎釜山麗水線
◎海州行　仁川發
◎南陽丸　毎日一回　仁川海州發
◎鎮南浦行
◎青島行　江華丸　八月十八日　仁川發

京城南大門驛前　松原運送店
其他各寄港地に代理店あり